

15th
Anniversary

東京電機大学経営同友会
15年史

東京電機大学経営同友会



東京電機大学経営同友会
15年史



15年史の 発刊にあたって

東京電機大学経営同友会
会長

渡辺 貞綱

経営同友会は今年度で設立15周年を迎えることができました。

経営同友会は学校法人東京電機大学ならびに一般社団法人東京電機大学校友会の協力・連携の下に、産学協同のネットワークとして科学技術とビジネス振興の推進および会員相互の連携を深めることを趣旨として設立されました。今日の社会を予見しながら数々の事業を遂行されてこられた歴代会長をはじめ諸先輩方のご尽力に心より敬意を表したいと思います。

近年、産業社会ではますますグローバル化の推進が求められる一方、アメリカ政権交代による国家スタンスの変化やロシア・中国などによる自国主張の拡大・強調などをはじめグローバル化減速の傾向もみられます。また、AI技術の飛躍的な発達により、2045年にはシンギュラリティ(技術的特異点)に到達するとも予測されており、世界は大きな転換期に差し掛かっているように思えます。

このように先を見通すことが困難な時代であるからこそ、新しく主流となる科学技術・産業を創成するために、大学と産業界が有機的に連携する相互補完がより重要となります。幸いなことに東京電機大学はCRC(研究推進社会連携センター)を組織化し、研究セミナーをはじめとした各種研究発表会を通じて産業界との相互信頼と連携を深め、先見的な研究体制を構築していくこととしております。

経営同友会は、CRCを介して東京電機大学が保有するシーズを把握し、産業界からのニーズと実用化に向けたアドバイスをフィードバックすることにより、東京電機大学の先進的な研究体制の構築と活力ある人材の集積に資する所存です。従前より開催しております特別講演会や起業希望者に対する経営提案・情報提供などの経営セミナーおよび会員相互の交流を引き続き推進し、会員の皆様にとって価値のある会として、さらには東京電機大学においても有益な連携支援組織として自律した経営同友会の運営を目指して参ります。どうか今後とも各位の絶大なるご協力を賜りたくお願い申し上げます。



東京電機大学経営同友会
15年史



15年史発刊への祝辞

学校法人東京電機大学
理事長

加藤康太郎

東京電機大学経営同友会15年史の刊行、誠にありがとうございます。経営同友会がこれまで順調に発展を続けてこられましたのも、関係各位のご尽力の賜物と存じます。

さて、経営同友会は会則に掲げられている通り、「東京電機大学と緊密に連携を保持し、校友会の協力を得て、各種事業を遂行し、大学及び校友会の発展と産業の興隆、社会への貢献に資する」ことをその目的の一つとされております。平成13年の設立以来、先生方の研究成果の公表、会員企業の紹介、各界著名人による特別講演会あるいは若手ベンチャー起業家の育成また産学連携による事業推進等に努め、着実にその活動を推進されてきたことに、学園として深甚なる敬意と感謝を述べたいと存じます。

学園は現在、輝き続ける東京電機大学を目指し、中長期計画「TDU Vision 2023」を推進しています。そして学園創立110周年、また理工学部開設40周年を迎える平成29年4月には東京千住キャンパス5号館を開設し、システムデザイン工学部、および工学部3学科を新設、さらに平成30年4月には、理工学部および工学部第二部の改編と、情報環境学部の東京千住キャンパスへの移転を計画しています。大学院教育の拡充、縦型・横型統合的教育の実現により、「実学尊重」「技術は人なり」の理念をさらに発展させ、次の100年を目指す所存であります。

今日、AIやIoT等による第4次産業革命の時代と言われ、社会は大きな変革の時期を迎えています。本学は創立以来100年を越えて理工系大学として教育、研究、社会貢献に邁進してきました。経営同友会では様々な業種の会員同士が交流を深められ、産業界の研究開発や人材育成に関するニーズや動向を大学にお教え頂くとともに、大学は社会人教育や研究成果のご提供等を一層推進したいと考えます。さらに産学が協力した研究や教育活動も積極的に実現、新たなイノベーションを起こしていきたいと考えています。

これからの活動がさらに多くの成果を結実させることを祈って、ご挨拶とさせていただきます。東京電機大学経営同友会と会員企業各社様の、益々のご発展を祈念致します。

技術は人なり。



経営同友会への期待

東京電機大学
学長

安田 浩

東京電機大学を代表し、経営同友会15周年をお祝い申し上げます。経営同友会からは、その設立以来多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

平成28年には、第二次大戦後増加を続けてきた日本の人口が初めて減少に転じ、さらには年間の出生数も初めて百万人を切りました。日本の少子化が加速されることが明らかとなり、東京電機大学を取り巻く環境はより厳しくなることが予測されます。

一方AIの急速な進展から、2045年は「コンピューターが人間を越える時：特異点(Singularity)」になるのではないかと推定があり、理工学教育・研究の内容は、予測を超える早さで変化すると思われます。

以上述べた種々の環境変化に、東京電機大学は的確に対応し、輝き続ける大学として発展を持続させる必要があります。すなわち、電気・電子・機械・建築・情報・化学といった技術基盤に一層の磨きをかけるとともに、AI・情報駆動・ディープラーニング・ビッグデータ処理等の先端技術への対応も充実しなければなりません。そのために平成29年度から、新学部:システムデザイン工学部を東京千住キャンパスに新設し、工学部・工学部第二部・理工学部・未来科学部についても適切な改編を行い、時代に対応する技術によって社会貢献を果たす技術者を輩出し、本学の使命を果たしてまいります。東京電機大学の卒業生が、来るべき超スマート社会建設へ、大きく貢献することをご期待下さい。

このような改編を支えるために、東京千住キャンパスに新たに5号館を建設し、ものづくりセンターを開設して、建学の精神「実学尊重」のさらなる充実を図るとともに、卒業生の社会貢献の質をより向上させ、本学の教育・研究の理念「技術は人なり」の実践度を高めるために、大学院の充実をも実現します。

時代に適合しようとする東京電機大学をより確実なものとするためには、社会からの多大なご指導が必要であり、経営同友会からの適切なご指導ご鞭撻が必須であり、経営同友会に大変期待するものであります。紙上を借りましての大変厚かましいお願いで失礼とは存じますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



東京電機大学経営同友会
15年史



頑張ろう。おめでとう。

一般社団法人東京電機大学校友会
理事長

松尾 隆徳

東京電機大学経営同友会の創設15周年、誠におめでとう。

今から15年前「経営同友会なる組織を創るので会員になってください」との依頼を受けた。「東京電機大学卒業生で上場企業・主要企業の役員を中心に構成し、企業と大学を結ぶ産学連携事業を強力に推進する」ということであった。

名古屋の田舎で仕事する私にとって、産学連携はさておき、日本の主要企業の役員が集まる場に参加できる。こんな素晴らしい魅力的なことはない…と思い、卒業生であった部下と共に参加した。バブル崩壊後の不況下でしたが、当社の新事業を推進するにあたって、この場で得た人脈で販路を拡大し、また、製品機能の改善向上も実現できた。当社の課題であった関東・首都圏でのビジネス拡大が実現できたことは大きな成果であった。

その後、経営同友会会長に選任され、学園理事長や校友会理事長のご配慮をいただきながら、共に新任であった護田常務幹事とのコンビで、産官学交流センターとも連携し、経営同友会の更なる発展のため、苦労を重ねた。有力な先輩、卒業生諸氏の退会が続き、会員拡充に苦労しながらも、本来の産学連携をめざし、連携コーディネータ活動の推進、大物経営者や卒業生による講演会の開催、大学教育課程への卒業生講師派遣、新規起業を考える卒業生へのベンチャー支援プログラムの開設等、活動の場を広げた。講演会は大学授業単位にも組み入れ、学生参加の道も拓いた。

東京電機大学の知財は膨大で限りない。産業界に於ける卒業生の活躍も広範に及ぶ。この両者の連携を更に、更に拡大させ、東京電機大学の社会貢献を大きくせねばなりません。日本の産業界を担う東京電機大学！校友会も一緒になって前進します。頑張ろう。おめでとう。

Contents

ご挨拶

15年史の発刊にあたって

東京電機大学経営同友会 会長 渡辺 貞綱	3
----------------------------	---

祝 辞

15年史発刊への祝辞

学校法人東京電機大学 理事長 加藤康太郎	4
----------------------------	---

経営同友会への期待

東京電機大学 学長 安田 浩	5
----------------------	---

頑張ろう。おめでとう。

一般社団法人東京電機大学校友会 理事長 松尾 隆徳	6
------------------------------------	---

経営同友会発足の趣旨	8
------------------	---

15年間の変遷	10
---------------	----

経営同友会の思い出

「ありがとう」のお言葉を頂けるような人材の育成を

経営同友会 名誉顧問(元会長) 横田 等	12
----------------------------	----

経営同友会の活動と大学への貢献

経営同友会 監事(元副会長) 阿高 松男	13
----------------------------	----

経営同友会のあゆみと思い出

経営同友会 顧問(元常務幹事) 宮崎 登	14
----------------------------	----

「人の繋がりで、人が人を呼ぶ」—母校に足を運んでもらうのが第一歩

経営同友会 顧問(前常務幹事) 護田 一郎	15
-----------------------------	----

教育特別委員会「アイデアコンテスト」の思い出

経営同友会 元教育特別委員長 神戸 康吉	16
----------------------------	----

15年間の記録	17
---------------	----

後輩経営者に贈るアドバイス

21世紀の技術者

経営同友会 副会長 鈴木 茂昭	50
-----------------------	----

橡(とち)の実

経営同友会 理事 佐々木弘忠	51
----------------------	----

継続は力なり

経営同友会 理事 多田 彰吾	52
----------------------	----

経営同友会のこれから	53
------------------	----

資料編

平成28年度 東京電機大学経営同友会の組織	54
-----------------------------	----

経営同友会会員一覧	55
-----------------	----

講演会等 対外行事一覧	60
-------------------	----

編集後記	64
------------	----



東京電機大学経営同友会発足の趣旨

東京電機大学経営同友会発足の趣旨は、校友の皆様と学園並びに校友会と産学協同のネットワークを組織して、相互の連携を深め、科学技術とビジネスの振興を推進することです。

昨今の経済情勢は真に厳しい状況にあります。「経営同友会」において、相互の支援姿勢を確立し切磋琢磨に努め、この産学協同プロジェクトを推進して、教育界、産業界、延いては、校友の皆様、学園、校友会の更なる発展を目指す所存です。

21世紀を迎え、実感のなき景気回復基調のなかで、社会を取り巻く諸問題を直視しつつ、未来を拓く新技術、新産業、財政等新しい進路に向けて校友の企業経営者、会社役職者の皆様方が中心となり、積極的に活動を進めることが、これからの共生の道であると考えております。

(発起人)

丸 山 孝一郎	学校法人東京電機大学理事長
小 谷 誠	東京電機大学長
横 田 等	社団法人東京電機大学校友会理事長
竹 内 保	発起人代表、東光電気工事(株)特別顧問、東光工材(株)社長
加 藤 勝 一	学校法人東京電機大学監事、日東工業(株)前社長
加 藤 康太郎	学校法人東京電機大学理事、(株)加藤電気工業所社長
川 村 長 治	学校法人東京電機大学理事、日機電装(株)社長
野 澤 宏	学校法人東京電機大学理事、富士ソフトABC(株)社長
藤 巻 和 允	学校法人東京電機大学評議員会議長

(役職は平成13年3月時点)





東京電機大学経営同友会設立趣意書

学校法人東京電機大学は、明治40年(1907年)9月に開設されて以来、科学者技術者の養成と工業教育の普及に努め、理工系総合学園に生成発展してまいりました。今後、より一層、社会や産業界の期待に応えるため、人材の育成と学術研究を推進してまいり所存でございます。学園は、平成19年(2007年)に創立100周年を迎えることとなります。また、社団法人東京電機大学校友会は、卒業生の組織として明治42年(1909年)10月に設立されて以来、学園と緊密に連携をとり、現在は公益法人として多様な事業を展開し、その役割を果たしております。特に近年は、各都道府県に支部を設置し、地域社会に対する公共的支援の拡充を進めております。

さて、昨今の急激な技術革新、とりわけ情報技術産業に代表される情報通信技術の進展は、21世紀の社会を根本的に変革させるとも言われております。このような時代においては、科学技術の動向、経済情勢、社会状況等を的確に把握するとともに、多方面の情報を収集し有効に活用することが必要となります。そのためには、知的・人的資源を保有する大学と、わが国の経済社会を支えている産業界が有機的に結びつき、密接な連携を保つことが極めて重要であります。

この度、学校法人東京電機大学と社団法人東京電機大学校友会の協力のもと「東京電機大学経営同友会」を発足いたします。設立の趣旨は、学園ならびに校友会を産学協同のネットワークを組織し、相互の連携を深め、科学技術とビジネスの振興の推進を図ることにあります。具体的には以下の事業を積極的に展開し、会員企業、学園ならびに校友会の更なる発展を目指す所存でございます。

主な事業内容

1. 研修会、研究会、セミナー等を通じて会員相互の科学技術、ビジネス、マネジメントに関する知的交流を図る。
2. 学校法人東京電機大学の知的・人的資源の情報提供ならびに会員との交流を図る。
3. 学校法人東京電機大学のTLO(技術移転機関)等を活用した産学交流事業の推進を図る。
4. 異業種の会員相互の交流を図り、会員企業の発展と社会への貢献に資する。
5. 学生との交流を深め、イノベーションマインドやベンチャーマインド等の人材育成に資する事業を推進する。
6. 学校法人東京電機大学のエクステンションセンター、新規事業等と組織的な連携を図り、その事業を推進する。
7. その他、学校法人東京電機大学ならびに本会が必要と認められる事業。

平成13年3月23日

	2001年 (平成13年)	2002年 (平成14年)	2003年 (平成15年)	2004年 (平成16年)	2005年 (平成17年)	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)
会 長	竹内 保 				横田 等 		
副 会 長	加藤康太郎 野澤 宏 川村 長治			井上 輝男 佐々木弘忠			
総務委員長	加藤 勝一			前角 典男			
企画運営委員長	滝田 潔						
教育特別委員長	鈴木 茂昭			神戸 康吉			
事業推進委員長	萩原 晃 傳甫 嘉之 佐々木弘忠						
経営懇談委員長	小林清一郎						
ビジネス・シェアード・ コミュニティ委員長							
経理委員長							
常 務 幹 事	宮崎 登						
常務幹事補佐							
監 事	藤巻 和允 護田 一郎				亀井 邦夫		
学園理事長	丸山孝一郎			加藤康太郎			
学 長	小谷 誠	当麻 喜弘		原島 文雄			
校友会理事長	横田 等		矢野 善治		岡田 榮一		
正 会 員 数	73	101	91	91	85	81	84
特別会員数	5	31	35	49	49	54	56

2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	
松尾 隆徳							渡辺 貞綱		
									
鈴木 茂昭									
阿高 松男			高橋時市郎				清水 康夫		
石黒 鐵彦									
多田 彰吾									
森井 曠雄									
遠山 功									
							飯塚 道夫		
護田 一郎							小林清一郎		
							村田 耕治		
井上 輝男					阿高 松男				
亀井 邦夫			阿高 松男		小笹 俊一				
古田 勝久									安田 浩
石塚 昌昭			渡辺 貞綱				松尾 隆徳		
107	110	107	102	97	96	90	93	104	
65	60	58	50	52	53	58	58	50	



「ありがとう」のお言葉を 頂けるような人材の育成を

東京電機大学経営同友会
名誉顧問(元会長)

横田 等

学校法人東京電機大学は学園創立の地である神田を離れて、広大な東京千住キャンパスに、創立100周年記念事業として一期計画を完成させて既に5年になります。本年4月には二期計画を完成させ、東京千住キャンパス全体が充実した体制となり、学園の更なる発展が期待されます。また、東京電機大学が北千住に開設されてから北千住の町は大きく変貌し、今や足立区のランドマークとも云われるように発展していると思われます。

日本の産業界は2000年に入ると急激な技術革新、とりわけ情報通信技術は目を見はるものがあり、大学と産業界が有機的に結びつくことが求められるようになり、学園及び校友会の理事長、理事、学長等が数名集まり会を立ち上げることになり、会の目的、事業の内容、設立趣意書等を検討し、会の設立総会を平成13年4月23日に開催しました。総会に於いて会の目的、設立趣意書等が承認され、会の名称を東京電機大学経営同友会、初代会長に竹内 保 氏が決定しました。発足時の会員は会員73名で特別会員等を含め78名が入会しました。同友会の事業運営は総会、企画運営、教育特別、事業推進の四委員会組織し、活動することになりました。

経営同友会で実施されたセミナー、講演会等の主要な講演を以下に述べますと「科学技術創造立国を目指して」を株式会社日立製作所の取締役代表執行役会長 庄山 悦彦 氏、「小泉純一郎を語る」を前内閣総理大臣首席秘書官 飯島 勲 氏、「新しい発想で未来を拓く」を東京電機大学学術顧問 吉川 弘之 氏、「グローバル化時代の企業経営」を株式会社東芝取締役会長の西田 厚聰 氏、「放送界の展望」を日本テレビ放送網株式会社代表取締役社長 久保伸太郎 氏、「科学技術イノベーション時代の経営」を三菱電機株式会社の相談役(元会長・社長)の野間口 有 氏等各界の錚々たる方々に講演をして頂きました。その他アイデアコンテスト大会が平成15年から22年迄毎年行われ、異業種の交流のビジネス交流会が平成17年から毎年行われております。これからも大学と産業界との連携並びに会員相互の年齢、環境を超えた交流に努めることにより、建学の精神の「実学尊重」、教育・研究の理念の「技術は人なり」の実現並びに学園の更なる発展を目指して1人でも多くのお客様から「ありがとう」のお言葉を頂けるような人材の育成に努力する時であると考えます。



経営同友会の活動と 大学への貢献

東京電機大学経営同友会
監事(元副会長)

阿高 松男

本会との出会いは平成19年4月に産官学交流センター長に就任した時ですので、早くも11年目を迎えます。当大学に転出してきたのは平成8年4月ですが、この職位に就任するまで経営同友会の存在を知りませんでした。恐らく一般の教員は同じ状況だと思います。本学卒業生で企業の経営陣として活躍されている方々が本学に貢献したいとの高邁な考えのもとに発足した会であるにも関わらず、学内での知名度が低いことに驚愕しました。もっと学内での認知度を上げ、大学教職員と一緒に大学のパレゼンスを挙げるように努力すべきだと思いました。15年史の編纂は、毎年の活動記録を残して学内に周知するためにも重要と考えます。

いままでの活動の一端を以下に記述してみます。先ず、年2回開催する特別講演会です。まさに社会で活躍されている知名人を招聘していますので、学生や教職員にも大いに参考となるため、大学院の特別講義として単位を認めてもらいました。これで多くの大学院生が参加するようになり、学生の視野を広げるのに一役果たしています。

次に、平成15年に本会で始めた学生アイデアコンテストは、第7回まで実施し成果を上げてきましたが、主役が学生であることと、本会主催ですと大学の関心が薄かったため、平成22年に大学主催に変えました。しかし、表彰式が終わると学生の素晴らしいアイデアもそのままになってしまうので、経営同友会としてアイデアを育成していく方法がないかを、大学とともに考えていく必要があると思います。

その他、卒業生による公開講座を開催して学生の起業家精神の育成に努め、事業推進委員会のメンバーが産官学交流センターの非常勤のコーディネータとして活躍して成果も出し、ビジネスシェアードコミュニティ委員会を立ち上げて卒業生の若い経営者の育成に貢献するなど、大学への貢献が浸透してきています。

今後益々本会が発展し、大学にもさらに貢献して下さるよう願っています。



経営同友会の あゆみと思い出

東京電機大学経営同友会
顧問(元常務幹事)

宮崎 登

東京電機大学は、科学技術を以て社会に貢献する人材の育成を目指した教育を推進しています。本学創立者の廣田 精一 先生は、昭和3年7月に電機学校の職員一同に講話され、その中で「皆さん、ご承知の通り、電機学校は7000人の生徒を有して、その適切な教授振りに、既に我が国での一大権威を形作っている。この点においては、私は電機学校が既に日本第一の学校だけでなく、実に世界第一の学校であると信じる。我々は人生に対して誇りを持たなければならない」と述べられたとの記録があります。

この本学の精神のもと、平成13年4月に発起人代表 竹内 保 氏を会長として、東京電機大学経営同友会を発足しました。竹内 保 氏は、昭和22年に東京電機大学の前進である電機工業専門学校電気科を卒業後、東光電気工事株式会社に入社、都内大型著名建築物の電気工事に携わり、昭和63年代表取締役副社長に就任されました。学園の事業も学校法人東京電機大学理事、社団法人東京電機大学校友会理事長を歴任されるなど積極的に取り組まれるとともに、「日本技術士会」等外部団体の設立・運営にも貢献されました。経営同友会においては、会長就任後、会の発展に腐心・貢献されておりましたが、体調不良にて平成16年に横田氏と会長を交替されました。

私は、竹内会長に4年間常務幹事としてお仕えし、会の運営、会員募集等に携わりました。竹内会長には、会の初期の方向付けと運営に関するご指導をいただきました。今でも落語の名手であった竹内会長に「お前さん、そこは少しおかしいんじゃないかい？」と声をかけられたことを思い出します。また、横田会長にも4年間常務幹事としてお仕えしました。常務幹事時代の8年間は会員増が急務で「会社四季報」等から役員となっている卒業生を探し出しては訪問し、会の目的、必要性を何度も説明して入会をお願いしました。その結果、会員数を120社強とすることが出来ました。現在、その時に参画いただいた諸氏に中核の理事としてご活躍いただいております。感無量であります。

今後とも経営同友会が学園、校友会との連携を維持・強化して、益々活発に活動されることを期待しております。また、今後もお役に立てれば幸甚に存じます。



「人の繋がりで、人が人を呼ぶ」 —母校に足を 運んでもらうのが第一歩

東京電機大学経営同友会
顧問(前常務幹事)

護田 一郎

母校を卒業して社会人になると、よほどのことがない限り、なかなか母校には立ち寄りにくいものです。このため、少しでも足を運んでもらおうと、母校は校友会の他、いろいろな組織を用意しています。この中で人を介して交流が始まるよう、各組織の担当者は立ち寄っていただく工夫をいろいろ考えるわけです。一度出向いていただきますと、人は不思議なことに、意外と自然体になり、億劫さも少なからず解消するようになると思います。

因みに、同窓会で集う、校友会に足を運ぶ、商工懇話会に顔を出す、電気管理技術者の仲間の会に出席する、技術士会の席を温める、経営同友会の勉強会に赴く等、卒業者のためのメニューを母校は数多く用意しています。ともかく、それぞれの組織の自助努力で、何とか一度、新しい方に会場に足を運んでもらうことが、全ての第一歩となるように思えてなりません。

翻って、経営同友会のこの15年間の足跡を見ても、会のメンバーを増やすことは大変な努力が必要なことを痛感しております。ましてや、現業の第一線にいらっしゃる経営者の方、経営者をめざして邁進されている管理職の方々に母校に足をお運びいただくのは至難の業です。

しかし、先達に築いていただいた経営同友会の狼煙(のろし)を高らかに上げて行くためには、後輩は発展的に継承していかなければなりません。そのためには、一人でも、二人でも会員を増やすことが大前提です。会員一人ひとりに、講演会等に新しい会員候補者を同伴していただき、先輩経営者の声に耳を傾けてもらって、経営同友会の良さをご理解いただくように努力して参りたいものです。草の根の運動と言えますが、全ての原点のように思われてなりません。願わくば、各組織の横のつながりができれば相互の交流もより活発になり、嬉しさも倍増します。創立15年にあたり想いを新たにす今日この頃です。



教育特別委員会 「アイデアコンテスト」の思い出

東京電機大学経営同友会
元教育特別委員長

神戸 康吉

平成13年4月に発足した教育特別委員会の目的は、「学生との交流を深め、イノベーションマインドやベンチャーマインド等の人材育成に資する事業を推進する」ことにありました。

当時他大学では、ベンチャー人の育成のため学生による「アイデアコンテスト」を行っていましたが、学内にはまだその機運がなく、経営同友会が主体となって学内の協力体制を築いていくべきとの意見もあり、平成14年度の事業計画で他大学の事例調査を行うことになり、平成9年よりコンテストを行っている電気通信大学電子工学科の森崎 弘 教授にお会いして内容をお伺いしたところ、「本年（平成14年）で第6回目となり、当初応募数も20件足らずであったが、現在40件超となり、運営費用として学生研究費の中から約350万円を計上、賞金は研究費として1件最高30万円である」とのことでありました。

この内容を基に委員会並びに役員会で検討し、平成15年7月「第1回TDUアイデアコンテスト」として産官学交流センターと共同で募集要項を作成、申込書は各学科長または専攻主任経由で提出して頂くことになりました。

また、賞金総額は180万円、最優秀賞30万円、優秀賞・技能賞・努力賞各10万円、その他副賞として、大学同窓会・後援会、産学交流会、経営同友会の会員より支援を頂き、審査は、教授並びに支援団体の代表者となり、委員長を田中国際特許事務所長 田中 正治 氏(32C)が引き受けて下さいました。

第1回アイデアコンテストの審査は、同年11月3日神田キャンパスにて13件の応募について行われ最優秀賞2件、優秀賞2件他が選ばれました。

その後は引き続き、運営方法の見直し、審査基準の作成、事前特許申請、さらに賞金額の見直し等を行いコンテストとしての整備がなされていきました。そこで本来の姿である大学側に運営移管を折衝し、平成22年より「第8回東京電機大学アイデアコンテスト」として学生支援センターが事務局となり大学行事の一環として行われることになり、経営同友会は後援並びに協力として引き続き支援し現在に至っております。



東京電機大学経営同友会 15年間の記録

2001年

(平成13年)

2月 発足の相談会

3月 東京電機大学経営同友会
発起人打合せ

- 丸山孝一郎 学校法人東京電機大学理事長
小谷 誠 東京電機大学長
横田 等 社団法人東京電機大学校友会
理事長
竹内 保 発起人代表、
東光電気工事株式会社特別顧問、
東光工材株式会社社長
加藤 勝一 学校法人東京電機大学監事、
日東工業株式会社前社長
加藤康太郎 学校法人東京電機大学理事、
株式会社加藤電気工業所社長
川村 長治 学校法人東京電機大学理事、
日機電装株式会社社長
野澤 宏 学校法人東京電機大学理事、
富士ソフトABC株式会社社長
藤巻 和允 学校法人東京電機大学
評議員会議長

4月 東京電機大学経営同友会設立総会

- ・初代会長に竹内 保 氏を選任

◆記念講演 「大学における研究からライセンス・
起業への道」

情報環境学部

教授 浜田 晴夫 氏

内容：大学の研究テーマを、特許申請から実用
化に向けて発展させ、起業に結びつける
にはニーズの研究が必要である。

(55名参加)

7月 第2回経営同友会

◆講演 「21世紀の経営に何が必要か」

日本経済新聞社

編集委員 井本 省吾 氏

内容：21世紀をリードする企業のカギは、経営の
スピード、4つの自問、規制緩和は止められ
ない、発明発見の時代、および日本は高度
サービス社会となる、である。

(51名参加)

11月 第3回経営同友会

◆講演 「21世紀型企業の創造とアメーバ経営」

京セラコミュニケーションシステム株式会社

代表取締役社長 森田 直行 氏

内容：先の見えない市場の冷え込みで低迷して
いる経済情勢の中で、企業経営は新たな
局面を迎えている。具体的事例に基づき、
経営ビジョン、経営者のフィロソフィー、ベン
チャー企業の心構え等を解説。

(102名参加)

経営懇談会(異業種交流)

会員相互の情報交換及び親睦を図る

(53名参加)

経営同友会

役員会 2 回開催

学園主要事項

- 2月 1日 千葉ニュータウンキャンパス14号館(情報環境学部研究棟)
及び15号館(千葉メディアセンター)の定礎式・竣工式



- 4月 1日 情報環境学部を設置
11月15日 高等学校工業に関する学科の廃止認可される
12月 1日 学校法人東京電機大学100年史編纂委員会(委員長
金田 輝男 氏)を設置

国内および国外の主要な出来事

- 2月 9日 米ハワイ・オアフ島沖で愛媛県の水産高校の実習船が
米原潜に衝突され沈没
4月26日 小泉内閣発足
5月 1日 埼玉県に「さいたま市」が誕生
9月11日 米ニューヨークの世界貿易センタービル2棟とワシントン郊
外の国防総省への同時多発テロが発生
10月10日 野依 良治 氏(独立行政法人理化学研究所理事長)が
ノーベル化学賞を受賞
10月25日 Microsoft Windows XP 一般販売開始

1月 新年賀詞交換会

2月 会社概要の調査、産学連携の希望調査

- ・委員会参加のお願い
- ・インキュベーション事業設立支援のお願い
- ・インキュベーション施設の見学
株式会社ケイエスピー
株式会社さがみはら産業創造センター
早稲田大学インキュベーションセンター

3月 産学連携技術セミナー(後援:経営同友会)

「ブラシレスモーター及びその駆動装置」
工学部電気工学科 講師 吉田 俊哉 氏

「光ファイバー及び液晶マトリックス投影露光技術」
工学部精密機械工学科 教授 堀内 敏行 氏

「光応答性金属イオン吸着材料及び
金属イオン回収方法」
工学部物質工学科 助教授 鈴木 隆之 氏

「微細溝加工方法及びその装置」
工学部機械工学科 助教授 松村 隆 氏

5月 第2回 14年度経営同友会総会

- ・経営同友会委員会の構成・内容等の確定

第4回経営同友会

- ◆企業紹介 「富士ソフトABC株式会社」
代表取締役会長 野澤 宏 氏

10月 第5回経営同友会

- ◆研究紹介 「アバタイト」
～優れた人工歯根の開発成功～
フロンティア共同研究センター
特別専任教授 青木 秀希 氏

- ◆講演 「21世紀の勝ち残り経営戦略」
野村證券株式会社
経営役 岩佐 昌治 氏
内容：取締役会の活性化・持株株式解消への
対応策として、企業価値計算の考え方、21世
紀の経営戦略、および株式交換・会社分
割を利用した経営統合スキーム等につい
て解説。また、日本型経営システムの特徴、
執行役員制度と取締役会、および敵対的
TOBの防御策の資料を提供。



経営同友会

役員会 3回開催

学園主要事項

10月15日 創立100周年記念事業推進委員会
(委員長 丸山孝一郎 氏)を設置

国内および国外の主要な出来事

- 2月 4日 宇宙開発事業団、国産ロケット「H2A」2号機の打ち上げに成功
- 5月31日 日韓共催のサッカー・ワールドカップが韓国で開幕
- 9月10日 宇宙開発事業団、「H2A」3号機の打上げに成功し、2基の人工衛星も予定の軌道に投入
- 10月 1日 山梨大学と山梨医科大学が統合して山梨大学に、筑波大学と図書館情報大学が統合して筑波大学となる。
国立大学の統合は戦後初めて
- 12月10日 小柴 昌俊 教授(東京大学)がノーベル物理学賞を受賞
田中 耕一 氏(島津製作所)がノーベル化学賞を受賞

2003年

(平成15年)

1月 第6回経営同友会

- ◆講演 「情報通信基盤を活用した
セキュリティサービスの革新」
立教大学大学院教授
(セコム株式会社 顧問)
加藤善治郎 氏
内容：ネットワーク拡充効果、システムの構造・
発想、社会システム産業へ、創る・育てる
また創る、システムインテグレーションの例、
トータルパッケージシステム、創造に挑む
組織風土と戦略、等を説明。
(来賓 内閣総理大臣首席秘書官 飯島 勲 氏)

2月 産学連携技術セミナー(後援:経営同友会)

- 「光応答性金属イオン吸着及び
金属イオン回収方法(そのⅡ)」
工学部環境物質化学科
助教授 鈴木 隆之 氏
- 「IP通信拡散法による広帯域・高セキュリティ
VPN通信装置」
理工学部情報システム工学科
助教授 桧垣 博章 氏
- 「Intellectual Property (IP)としての組み込み型
暗号システムとその応用」
～集積回路コアの設計法とその保護機構への応用～
国際短期大学 助教授 中村 次男 氏

5月 第3回 15年度経営同友会総会

- ・学園へ経営同友会特別会員としての参加を依頼
し、また、以下を委嘱した。
- 同友会役員(幹事)
産官学交流センター長 教授 富田 英雄 氏
- 同友会委員会委員
工学部情報メディア学科 教授 絹川 博之 氏
理工学部知能機械工学科
教授 斎藤 之男 氏
情報環境学部情報環境工学科
教授 小林 浩 氏

5月 第7回経営同友会

- ◆企業紹介 「日東工業株式会社」
相談役 加藤 勝一 氏
- ◆研究紹介 「三次元コンピューターグラフィックス
(CG)技術開発」
情報環境学部
教授 新津 靖 氏

10月 第8回経営同友会

- ◆企業紹介 「セコム株式会社」
常務取締役 小林清一郎 氏
- ◆講演 「経営に生かすファシリティマネジメント」
株式会社 NTT ファシリティーズ
FM 事業推進本部副本部長
米川 清水 氏
内容：ファシリティマネジメント(FM)は、土地、
建物、設備を経営的視点で企画、総合
管理、活用する新しい経営手法。NTTファ
シリティーズ自らのFM 実践を通して、経
営に生かす FM の具体的事例や導入成
果、また最近のFM 市場の動向について
解説。

11月 第1回アイデアコンテスト

- 応募数 工学部 3 件、理工学部 10 件 計 13 件
- 表彰 最優秀賞 工学部 1 件、理工学部 1 件
優秀賞 工学部 1 件、理工学部 1 件
努力賞 理工学部 1 件
- 協賛賞
TDU産学交流会賞 1 件
TDU同窓会賞 1 件
計 7 件を表彰 (賞金総額 180 万円)

11月 公開講座

- ◆公開講座 「スピニアウトから35年」
～技術主導型経営の軌跡～
コベル電子株式会社
代表取締役社長 前角 典男 氏
内容：起業の思い、技術者の経営手法、会社
の歴史を説明。

12月 公開講座

- ◆公開講座 「ベンチャー企業における
リスクマネジメント」
東日本国際大学
経営学博士 松本 峯治 氏
内容：起業はたやすく出来るが、維持発展させ
るには、多種多様の知識が必要。シーズ
の一方的な思いだけでは、ニーズに結び
つかない。市場調査が重要である。

経営同友会

役員会 3 回開催
経営同友会ホームページ開設
アイデアコンテスト開始

学園主要事項

7月25日 文部科学省「21世紀 COE プログラム」に選定される
10月 7日 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に選定
される

国内および国外の主要な出来事

2月 1日 米スペースシャトル「コロンビア」が大気圏突入時に空中
分解し、乗員7人全員死亡
4月 1日 郵便、郵便貯金、簡易保険の郵政三事業を郵政事業庁
から引き継いだ日本郵政公社が発足
4月 4日 新型SARS(重症急性呼吸器症候群)が新感染症指定
される
7月 9日 国立大学を独立行政法人とする国立大学法人法など関
連六法が参院本会議で可決・成立
8月 4日 文部科学省、高卒や大検合格者に限定していた大学入
学資格の要件を廃止することを決定
12月 1日 地上デジタル放送が関東、近畿、中京の三大都市圏の
一部で始まる

アイデア募集



主催：東京電機大学 経営同友会
共催：東京電機大学
協賛：東京電機大学校友会・同大学同窓会・TDU産学交流会

(アイデアコンテスト募集ポスター)

1月 第9回経営同友会

- ・ 会員名簿を発行
(委員会名簿、会員索引、経営同友会会則を含む)
- ・ 会社概要を発行

◆講演 「人間と機械の共生」

理工学部教授

(21世紀COEプログラム推進リーダー)

古田 勝久 氏

内容：特性可変制御、知能ロボット、変化する環境に適応する能力、ノンインテリジェント制御の構造等に関して解説。また、制御の適用拡大化、および絶えず変化する環境で与えられた仕事を遂行するために、自らの構造や機能を自律的に変化させて、パフォーマンス向上を図るシステム（スーパーメカノシステム）を具体的事例にて解説。古田 振子（回転型倒立振子）は、歩行運動や器械運動の制御など人間社会に適したロボット制御に有効であることを説明。



(古田 勝久 氏)

3月 産学連携技術セミナー (後援:経営同友会)

電気・電子・情報の発表

「極めて簡単な電子回路による太陽光電池の超高速最適制御装置」

工学部電気工学科 講師 吉田 俊哉 氏

「レーザー光弾性法による半導体ウェハ応力測定装置の研究開発」

情報環境学部情報環境デザイン学科
教授 新津 靖 氏

「ハードウェア化に適した話速制御装置の提案」

情報環境学部情報環境デザイン学科
助手 斎藤 博人 氏

「コンピュータとロボットによるかな書道の世界」

理工学部情報科学科 教授 狩野 弘之 氏

「個人情報不正送出チェック機能つき暗号化メール」

工学部情報メディア学科 教授 佐々木良一 氏

機械・建築・バイオの発表

「マイクロ機械加工」

工学部機械工学科 教授 松村 隆 氏

「光リソグラフィによるマイクロ加工技術」

工学部機械情報工学科
教授 堀内 敏行 氏

「人の聴覚認知特性と音環境のサイン計画」

工学部建築工学科 助教授 秋田 剛 氏

「建築技術研究所の研究施設紹介と研究例」

工学部建築工学科 (建築技術研究所長)
教授 立花 正彦 氏

「植物無菌培養技術の利用」

理工学部生命工学科 助教授 栗山 昭 氏



(回転型倒立振子による起き上がりこぼし)
[古田 勝久 氏の講演資料より]

5月 第4回 16年度経営同友会総会

- ・ 役員の交替を承認
会長代行 横田 等 氏 (副会長)

第10回経営同友会

- ◆企業紹介 「FDK株式会社」
代表取締役社長 鈴木 惟司 氏

10月 第11回経営同友会

- ◆企業紹介 「株式会社協和エクシオ」
取締役 多田 彰吾 氏

- ◆講演 「わが国の大学と産業界の協調のあり方」
日本危機管理学会長 石川 昭 氏
内容：産学官連携推進のための諸制度（日本および米国）を紹介。産学官連携において先進国16カ国中、日本が最下位。また、起業活動レベルが人口の1%。各大学と企業の取り組み状況と提携の問題点、および今後のあり方を解説。

第2回アイデアコンテスト

- 応募数 工学部 5 件、理工学部 8 件 計 13 件
- 表彰 優秀賞 工学部 2 件、理工学部 1 件
技能賞 工学部 1 件、理工学部 3 件
努力賞 工学部 2 件、理工学部 1 件
協賛賞
TDU産学交流会賞 理工学部 1 件
TDU同窓会賞 理工学部 2 件
計 13 件表彰

経営同友会

役員会 3回開催

学園主要事項

- 2月26日 鳩山キャンパス新館(仮称)建設工事起工式
- 10月12日 情報環境学部が文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に選定される
- 12月21日 鳩山キャンパス9号館(100周年記念棟)の定礎式・竣工式



国内および国外の主要な出来事

- 1月 3日 NASA(米航空宇宙局)の火星探査車スピリットが火星の赤道付近への着陸に成功
- 1月30日 青色発光ダイオードの特許で東京地裁は日亜化学に対し発明対価として200億円を中村 修二 教授(米カリフォルニア大サンタバーバラ校)に支払うよう命令
- 10月 1日 72年間にわたり有人気象観測を続けてきた富士山頂の気象庁富士山測候所が完全に無人化される
- 10月23日 「新潟中越地震」新潟中越地方で震度6強の地震が3回発生、死者39人、被害者10万人

2005年

(平成17年)

1月

第12回経営同友会 (第1回ビジネス交流会)

◆講演 「生活・ビジネスに役立つ携帯の
今後の展望」

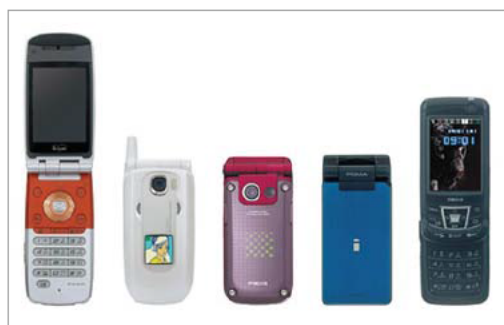
株式会社NTTドコモ

代表取締役副社長 石川 國雄 氏

内容：FOMAの現状と今後として、日本における携帯電話の市場環境、ドコモの取り組みの現状と今後の事業展開、携帯電話の新たな利用文化の創造、第4世代移動通信方式の目標研究開発戦略、海外iモードの展開状況、等の紹介と解説。

(160名参加)

(来賓 千代田区長 石川 雅己 氏)



(2005年の携帯電話 FOMA 901iS シリーズ
© NTT DOCOMO, INC. All Rights Reserved.)



(石川 國雄 氏)

3月

産学連携技術セミナー (後援:経営同友会)

電気・電子・その他の発表

「永久磁石同期電動機の回転子初期位置推定方法」
工学部電気工学科 教授 西方 正司 氏

「EHD現象を利用したアクチュエータ」
工学部機械情報工学科 教授 三井 和幸 氏

「新世紀の未来を切り拓く発光性ナノシリコン」
理工学部電子情報工学科
助手 佐藤 慶介 氏

「DNA の細胞内導入に適する人工ウイルスの
形状測定」
工学部環境物質化学科
客員教授 広田 貞雄 氏

情報通信・機械の発表
「UWB (超広帯域) ワイヤレス技術」
工学部情報通信学科 教授 小林 岳彦 氏

「グラマン相関」
情報環境学部情報環境工学科
教授 鈴木 秀一 氏

「ダイナミックシラバス 2」
情報環境学部情報環境デザイン学科
講師 小濱 隆司 氏

「物品販売用装置の開発」
理工学研究科知能機械工学専攻
大学院生 葉原 達也 氏

(参加 75社 92名)



(石川 國雄 氏 講演会の模様)

5月 第5回 17年度経営同友会総会

・役員改選

顧問 竹内 保 氏(会長)
 会長 横田 等 氏(会長代行)
 監事 亀井 邦夫 氏(新任)

第13回経営同友会

◆講演 「EUのWEEE&RoHS指令に伴う
日本企業の選別と最新情報」

～グリーン調達勝ち組になるために～
 日本電子株式会社

技術・法規担当顧問 松浦 徹也 氏

内容：欧州の環境規制の適用範囲について、
 廃電気電子機器指令（Waste Electrical
 and Electronic Equipment：WEEE
 指令）、および、有害物質使用制限指令
 （Restriction of Hazardous Substances
 ：RoHS指令）において、生産者登録と処
 理費用の問題、BtoB製品の処理費用と環
 境配慮設計手法、生産者スキーム規則、
 等について解説。

10月 東京電機大学秋葉原ランチ見学会

東京電機大学秋葉原ランチ（ベンチャーオフィス）
 は、21世紀COEプログラム研究拠点として、産官学
 連携機能の充実を図る目的で秋葉原クロスフィー
 ルド・ダイビル内に開設された。

経営同友会では、産官学連携活動の一環として、
 このオフィスの見学会を開催した。

第14回経営同友会

◆企業紹介 「新電元工業株式会社」

常務取締役 大川 譽夫 氏

◆講演 「中国ビジネスにおけるPR及び
マスコミ活動」

中華人民共和国 駐日本国大使館

参事官 黄 星原 氏

内容：中国の現状と今後の方向性、中国から見
 た日本に対する思想と考え方の根本的な
 違い等を解説。

11月 第3回アイデアコンテスト

●応募数 工学部 6 件、理工学部 7 件 計 13 件

●表彰 特別優秀賞、理工学部 1 件

優秀賞 工学部 2 件

奨励賞 工学部 2 件

努力賞 工学部 1 件、理工学部 1 件

協賛賞

TDU産学交流会賞 理工学部 1 件

TDU後援会賞 工学部 1 件

TDU同窓会賞 理工学部 1 件

計 10 件表彰



経営同友会

役員会 3 回開催

学園主要事項

3月31日 東京電機大学短期大学閉校

7月22日 情報環境学部が文部科学省の「特色ある大学教育支
 援プログラム」に選定される

国内および国外の主要な出来事

2月16日 地球温暖化防止に向けて先進国に温室効果ガスの削
 減を義務づける京都議定書が発効

3月25日～
 9月25日 愛・地球博、愛知万博開催



9月12日 宇宙航空研究開発機構の小惑星探査機「はやぶさ」が
 最終目的地の小惑星「イトカワ」に到達

11月17日 姉歯建築設計事務所による「耐震強度偽装問題」発覚

2006年

(平成18年)

2月

第15回経営同友会 (第2回ビジネス交流会)

◆特別公開講演

「放送界の展望」

日本テレビ放送網株式会社

代表取締役社長 久保伸太郎 氏

内容：現在話題に上がっている放送と通信の融合、放送界の未来や現在の課題を解説。

(301名参加)

(来賓 千代田区長 石川 雅己 氏)



(久保伸太郎 氏)



(講演会の模様)

6月

第6回 18年度経営同友会総会

第16回経営同友会

◆講演 「科学技術創造立国を目指して」

株式会社日立製作所

取締役 代表執行役

執行役会長 庄山 悦彦 氏

内容：日本は人口が減少し、GDPは2015年に中国が、2040年にはインドが日本並みになる。日本がどうなるか心配である。人口減の危機感を認識して新しい国家ビジョン・価値観を造る必要がある。これをチャンスとして様々なことを実行しなければいけない。「活気あふれる国民が、豊かな・尊敬される・期待される・魅力ある日本ブランドを確立」の共通認識を持ち、技術革新を常に世界に広げリードしていくことが必要である。科学技術創造立国に向けて、科学技術人材の育成強化、絶えざるイノベーションの創出に向けて、基礎研究重視による源の潤沢化、種から実へ育て上げる仕組み、結実される政策、制度改革、人材育成が必要である。電機大学の「技術は人なり」である。フロントランナー型の人材育成を期待したい。

(参加292名)



(庄山 悦彦 氏)

7月 公開講演会

- ◆講演 「環境管理・RoHS対応体制の確立」
東光株式会社
元環境室長 高橋 信夫 氏

10月 第17回経営同友会

- ◆企業紹介 「アストロデザイン株式会社」
代表取締役社長 鈴木 茂昭 氏
- 「株式会社NTTファシリティーズ」
理事 営業本部
法人統括部長 小泉 泰之 氏
- 「コベル電子株式会社」
代表取締役社長 前角 典男 氏

公開講演会

- ◆講演 「IT技術の世界的潮流」
AMS ジャパン株式会社
代表取締役社長 林 正昭 氏

11月 第4回アイデアコンテスト

- 応募数 工学部 6 件、理工学部 13 件 計 19 件
- 表彰 特別優秀賞 1 件、優秀賞 2 件
奨励賞 2 件、努力賞 2 件
- 協賛賞
TDU産学交流会賞 1 件
TDU後援会賞 1 件
TDU同窓会賞 4 件

計 13 件表彰

公開講演会

- ◆講演 「ベンチャー企業 6 年目の軌跡」
～株式上場を目指して～
株式会社セキュリティデザイン
取締役技術部長 沖 雄一 氏

閃きが
世界を
変える

アイデアコンテスト

あなたのアイデアをお寄せください

課題テーマ「環境」
もしくは
自由課題

(アイデアコンテスト募集ポスター)

経営同友会

役員会3回開催
研究紹介メールマガジンの発行開始
大学院授業「MOT 概論」開講に協力

学園主要事項

4月 1日 大学院先端科学技術研究科を設置

国内および国外の主要な出来事

- 1月24日 宇宙航空研究開発機構が「H2A」8号機を種子島宇宙センターから打ち上げ、陸域観測技術衛星「だいち」を所定の軌道に投入することに成功
- 7月31日 国連人口基金が世界の人口は65億4,030万人と発表
- 8月14日 旧江戸川でクレーン船が東京電力の送電線に接触。東京都や横浜市などの約139万1千世帯が停電
- 9月11日 宇宙航空研究開発機構が「H2A」を打上げ、情報収集衛星光学2号機を所定の軌道に投入することに成功

2007年

(平成19年)

2月

第18回経営同友会 (第3回ビジネス交流会)

- ◆講演 「前内閣総理大臣 小泉純一郎を語る」
前首席内閣総理大臣秘書官
飯島 勲 氏
- 内容：本学卒業生であり、郷里長野から上京し、
本学に進学した時の様子や、その後の仕
事、秘書になってからの苦労話、首席秘
書官時代の出来事などを講演。
(376 名参加)



(飯島 勲 氏)

6月

第7回 19年度経営同友会総会

- ・役員(幹事)の交替を承認
退任幹事 富田 英雄 氏 藤田 聡 氏
新任幹事 阿高 松男 氏 鈴木 惟司 氏

第19回経営同友会

- ◆講演 「未来科学部設置の趣旨と教育の
取り組み」
未来科学部 学部長
教授 大園 成夫 氏
- ◆企業紹介 「株式会社三菱地所設計」
技術情報部部长 林 和博 氏

公開講演会

- ◆講演 「新しい営業の仕組みとは」
株式会社サン・ホーラム
代表取締役社長 岩淵 正昭 氏

10月

第20回経営同友会

- ◆企業紹介 「ホーチキ株式会社」
代表取締役会長 岡田 榮一 氏
- 「株式会社関電工」
特別顧問 石塚 昌昭 氏

公開講演会

- ◆講演 「起業体験 28歳でソフト会社設立」
アイウェア株式会社
代表取締役会長 遠山 功 氏

11月

公開講演会

- ◆講演 「起業体験 会社設立 37 年の軌跡」
ユニパルス株式会社
代表取締役会長 吉本 喬美 氏

12月

第5回アイデアコンテスト

- 応募数 工学部 12 件、理工学部 8 件 計 20 件
- 表彰 優秀賞 2 件、奨励賞 3 件、努力賞 5 件
協賛賞
- TDU産学交流会賞 1 件
TDU後援会賞 1 件
TDU同窓会賞 1 件

計 13 件表彰



経営同友会

役員会 3 回開催

学園主要事項

学園創立 100 周年

4 月 1 日 未来科学部を設置

国内および国外の主要な出来事

1 月 30 日 Microsoft Windows Vista が発売

2 月 18 日 第1回東京マラソンスタート

祝！学園創立100周年



(学園創立100周年記念式典〔平成19年9月11日 日本武道館〕の様様)

学園は、1907年(明治40年)9月11日に私立電機学校として創設され、100周年を迎えた2007年に一世紀の発展と業績の足跡を「東京電機大学100年史」として集大成し刊行した。

この100年史に掲載された宮崎 登 顧問(元 常務幹事)による寄稿文を、本誌に再収録する。

[次頁以降全4頁]。



(東京電機大学100年史)

「学校法人東京電機大学 100年史」への寄稿文

「東京電機大学100年史」(2007年刊行)に掲載された経営同友会の紹介を再収録

496 第Ⅱ部 部門史

東京電機大学 経営同友会

Tokyo Denki University Management High school
Association

東京電機大学経営同友会設立と運営

東京電機大学経営同友会の設立

我が国をはじめ先進諸国における科学技術の進展は目ざましく、昨今のように急激な技術革新、特に情報技術産業の発展は、産業構造や経済社会を大きく変えようとしている。このような時代においては科学技術の動向、経済情勢、社会状況等を多方面からの情報を的確に把握し、有効に活用する必要がある。そのためには知的・人的資源を保有する学園と、経済社会を支えている産業界が有機的に結びつき、密接な連携を保つことが重要である。幸い本学の卒業生は、企業経営者、会社役員として多数活躍されている。これらの皆様と相互の連携を深め、科学技術とビジネスの振興を図る組織づくりをすべきである旨の提案がなされ、幾度か話し合いがもたれた。

以下に、東京電機大学経営同友会設立に至るまでの経緯を記す。

(1) 2001年(平成13年)2月26日、本会発足に向けて相談会を開催。出席者は学園及び校友会の理事長、卒業生の学園理事、総務担当、校友会担当者の出席の上、会の目的、会の名称、会則(案)、会の事業内容とその計画、設立趣意書(案)等について意見交換が行われた。

(2) 2001年(平成13年)3月6日、東京電機大学経営同友会(仮称)の発起人打合せ会開催。発起人打合せ会において、下記の事項について協議し確認された。

(i) 本会の名称

東京電機大学経営同友会(案)(TDU-MA:
Tokyo Denki University Management

Association)

本会の団体名称として東京電機大学ビジネス同友会、経営同友会、経済同友会等18の名称案が提案され、上記の東京電機大学経営同友会(案)とすることを確認した。

(ii) 設立趣意書(案)

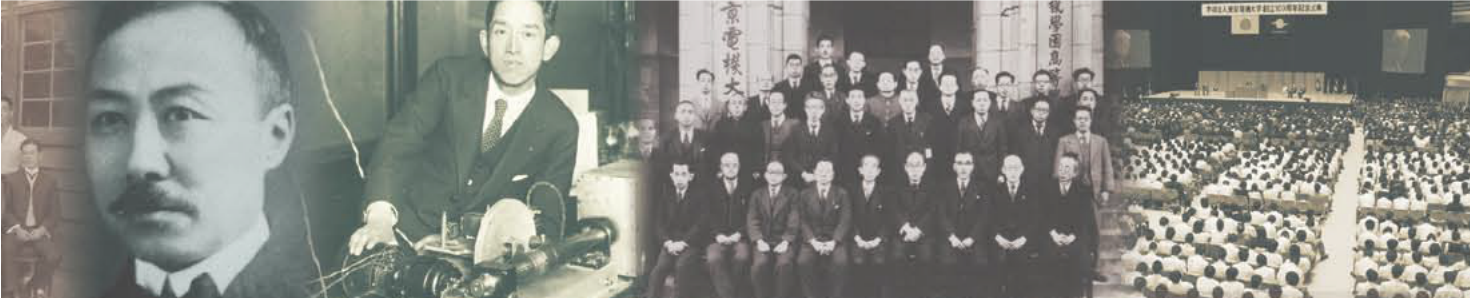
下記の趣意書(案)を協議し、確認した。

東京電機大学経営同友会設立趣意書(案)

学校法人東京電機大学は、1907年(明治40年)9月に創設されて以来、科学技術者の養成と工業教育の普及に努め、理工系総合学園に生生発展してまいりました。今後、より一層、社会や産業界の期待に応えるため、人材の育成と学術研究の推進をしてまいる所存でございます。学園は、2007年(平成19年)に創立100周年を迎えます。また、社団法人東京電機大学校友会は、卒業生の組織として1909年(明治42年)10月に設立されて以来、学園と緊密に連携をとり、現在は公益法人として多様な事業を展開し、その役割を果たしております。特に近年は、各都道府県に支部を設置し、地域社会に対する公共的支援の拡充を進めております。

さて、昨今の急激な技術革新、とりわけ情報技術産業に代表される情報通信技術の進展は、21世紀の社会を根本的に変革させるとも言われております。このような時代においては、科学技術の動向、経済情勢、社会状況等を的確に把握するとともに、多方面の情報を収集し有効に活用することが必要となります。そのためには、知的・人的資源を保有する大学と、わが国の経済社会を支えている産業界が有機的に結びつき、密接な連携を保つことが極めて重要であります。

この度、学校法人東京電機大学と社団法人東京電機大学校友会の協力のもと「東京電機大学経営同友会」を発足いたします。設立の趣旨は、学園ならびに校友会を産学協同のネットワークを組織し、相互の連携を深め、科学技術とビジネスの振興の推進を図ることにあります。具体的には以下の事業を積極的に展開し、会員企業、学園ならびに校友会の更なる発展を目指す所存でございます。



(主な事業内容は後述するため省略)

(iii) 会則(案)

- 第1章 総則：名称、事務局の所在地、目的、事業
- 第2章 会員：通常会員と特別会員、会費、退会
- 第3章 役員及び特別顧問・顧問：役員の定数、役員の選任、役員の任期、役員の職務分掌、特別顧問及び顧問の選任
- 第4章 会議：総会、総会の決議事項、総会の定足数、総会の議決、役員会、議決事項の通知、議事録、委員会及び懇談会
- 第5章 事務局
- 第6章 会計：会計、事業年度
- 第7章 雑則

付則

上記会則は第1章～第7章、第1条～第24条により構成され、会則の条文等を協議し確認した。

(iv) 会員候補者(案)

上場企業、店頭企業、未上場企業の卒業生役員164名を会員候補者にお願いすることになった。

(v) 本会の発起人

世話人代表(学園学資：竹内保)、学園(理事長：丸山孝一郎、学長・小谷誠)、校友会(理事長：横田等)、校友(学園理事：川村長治、加藤康太郎、野澤宏、学園監事：加藤勝一、学園学資：藤巻和允)上記発起人の了承並びに承認を確認した。

(vi) 経営同友会の主な事業内容

本会の主な事業内容を当面、下記の事業を目標に実施することを確認した。

東京電機大学経営同友会の主な事業内容

1. 研修会、研究会、セミナー等を通して会員相互の科学技術、ビジネス、マネジメントに関する知的交流を図る。(1)最新テーマのセミナー・シンポジウム等の開催(2)著名人による講演会の開催
2. 学園の知的・人的資源の情報提供ならびに会員との交流を図る。(1)教員による研究テーマの紹介等
3. 学園のTLO(技術移転機関)等を活用した

産学交流事業の推進を図る。(1)産官学交流センターを中心とした技術交流会・技術相談会実施のための協力(2)新たなビジネスシーズに関するワークショップの開催等

4. 異業種の会員相互の交流を図り、会員企業の発展と社会への貢献に資する。(1)経営懇談会等の開催(2)ビジネス交流会の開催
5. 学生との交流を深め、イノベーションマインドやベンチャーマインド等の人材育成に資する事業を推進する。(1)ベンチャービジネスに係わる講演会、公開講座の開催等(2)学生ベンチャーの育成
6. 学園のエクステンションセンター等と組織的な連携を図り、その事業を推進する。(1)卒業生を優先した生涯学習機会の提供・協力(2)学園の新規事業進出に際しての協力・助言・指導等
7. その他、学校法人東京電機大学ならびに本会が必要と認められる事業

(vii) 東京電機大学経営同友会、発足の会開催
 〈日時〉2001年(平成13年)4月23日(月)18時より
 〈会場〉東京電機大学神田キャンパス11号館17階大会議室

(1)東京電機大学経営同友会発起人会を2001年(平成13年)3月23日(金)に開催した。発起人代表者、竹内保を座長とし、前記の協議事項及び確認事項を再確認し、同年4月23日(月)の経営同友会「発足の会」に向けて準備会を催した。

(2)東京電機大学経営同友会の発足(設立総会)2001年(平成13年)4月23日(月)18時より、神田キャンパス11号館17階大会議室において、60余名のご出席をいただき、東京電機大学経営同友会の発足の会が開催された。

学園理事長及び発起人代表の挨拶の後、直ちに発会の手続き等について提案があり、本会の目的、名称、設立趣意書、会則、事業内容、役員等の審議に入り、これを承認し、東京電機大学経営同友会が発足した。初代会長に、竹内保が2001年(平

「学校法人東京電機大学 100年史」への寄稿文

「東京電機大学100年史」(2007年刊行)に掲載された経営同友会の紹介を再収録

498 第Ⅱ部 部門史

成13年) 4月23日付で就任された。

竹内保会長就任の挨拶の中で、本会の目的に沿って事業を推進し、学園への支援、会員相互のビジネス、マネジメント等に関する知的交流を図って、企業の発展と社会への貢献に資したい。併せて、社団法人東京電機大学校友会との連携を図り、相互の発展に寄与したい旨の挨拶があった。

経営同友会発足に際し、会員101名、特別会員学内者32名、学外者1名、計134名の方々が経営同友会の趣旨に賛同し、入会された。挨拶の後、参加者全員による懇談会が開催された。

2. 東京電機大学経営同友会の事業運営

(1) 毎年度の事業を立案及び推進するために、総務委員会、企画運営委員会、教育特別委員会、事業推進委員会の四つの委員会を組織している。経営同友会の事業を各委員会で分担し、計画及び事業の推進をはかり、その成果を挙げている。事業計画は役員会及び総会に諮り事業を推進する。

(2) 経営同友会、役員会、講演会等の年間開催状況

会合・セミナー等	開催回数／年
経営同友会	3回(総会を含む)
役員会	3～4回
経営懇談会	2回(総会後の懇談会含む)
委員長会議	2回
ビジネス交流会	1回(懇談会を含む)
講演会	2～3回
企業紹介	2回
TDUアイデア・コンテスト	1回(学部生、大学院生)
産学連携技術セミナー	1回 (産官学交流センター主催)

(3) 各委員会は担当副会長、委員長、委員で構成され、4委員会の開催回数は年間約30回にも及んでいる。

(4) 経営同友会の主な事業の内容

本会の毎年度の事業計画は各委員会で立案し、役員会及び総会に諮り決定する。ちなみに2005年(平成17年)度の事業計画は、以下の通りである。

〈総務委員会〉

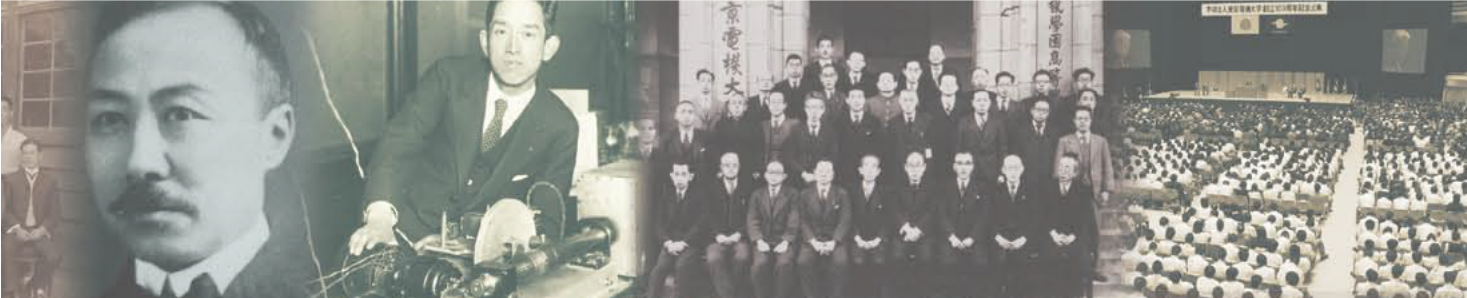
1. 会員及び特別会員の名簿を刊行する。
2. 会員及び特別会員(学外)の会社概要を編集する。
3. 本会のより最新活動情報を提供するために、ホームページのメンテナンスを実施する。
4. 大学との連携及び会員相互の交流等運営方法の改善を図り、大学ならびに会員それぞれのメリットを創出する。
5. 会員及び特別会員(学内・学外)の増員を図る。会員及び特別会員を増員し、会の活性化を図る。特に大学の先生方、研究者に入会を勧誘する。
6. 本会の総会、同友会、ビジネス交流会、役員会、講演会、懇談会等は、毎年度の経営同友会年間スケジュールに基づき開催する。

〈企画運営委員会〉

7. 企業の企画・運営、業績等話題になっている企業との情報交換を行う。
8. 会員相互の交流ならびに企業相互のビジネス交流会を開催する。会員企業等から会員及び会員以外の複数の方に参加していただき、ビジネス交流会を開催する。
9. 講演会(特別講演、一般講演、専門講演等)を年間2回程度開催し、会員の研修ならびに情報提供、交流を図る。また会員企業の紹介、研究開発の紹介を実施する。

〈教育特別委員会〉

10. 学生のベンチャーマインドの育成として、本学の大学院生、学部生及びOBによるアイデアコンテストを開催する。①アイデアコンテストの開催地は神田キャンパス1カ所で行う。②募集要項の作成と配布。③広報として錦祭、鳩山祭、秋葉祭誌に広告、募集ポスターを製作し配布する。④学科長(専攻主任)の推薦、審査委員会の設置。⑤優秀なアイデアについては表彰を行う。⑥優秀なアイデアの事業化資金(プレ・インキュベーション資金)の計画。⑦ビジネスプラン作成セミナーの開催(7月初旬開



催予定)。⑧学生のベンチャーマインド育成講座の開催。「DREAM GATE」の「企業家密着」インターシップに参加した学生ならびにOBを招き、参加の理由、何を学んだかを講演

11. ベンチャービジネス研究会の活動支援。一例として学生・一般（OBも含む）による自作ロボット・ビジネス研究会（自動制御部）が愛知万博に出展するための支援
12. 本学の大学OB、他によるベンチャー企業成功例・失敗例等の講演会を開催する。10～11月に開催予定
13. キャンパス・インキュベーション事業の目的、運営等を調査検討し、大学主導のもと開設に向けて支援する。

〈事業推進委員会〉

14. 産学連携技術セミナーと交流会の開催。産官学交流センターを支援し、セミナー及び交流会を実施する。強化策として開催回数の増を検討する。
15. 産官学連携活動の活性化。ベンチャー型企業のスタートアップ支援及び企業の新規分野参入支援。(1) 企業ニーズ、大学シーズの融合について、より一層綿密な打合せの場を提供。(2) インターネットによるメールマガジンの定着化、質の向上を強化する。また、そのための体制を強化する。(3) 上記(1)、(2)を車の両輪として推進し、企業事業者・開発者と大学の研究者（先生）のシーズをぶつけ合い、協議する機会を多くする。共同研究、受託研究などの成約増、特許増を図る。
16. インキュベーション事業への参画。将来を見据えて大学における検討とそれを支援する同友会が、このインキュベーション事業計画へ積極的に取り組みを支援する。

〈同友会全体〉

17. 学園創立100周年記念事業の推進に対し、積極的に支援する。
18. 学園ならびに本会が必要と認められる新

規事業については、連携を図り、その事業を推進する。

19. 本会の事業推進に必要な見学・研修・調査を行う。
20. 同友会、役員会等は毎年度作成する年間スケジュール表に基づき開催を予定するが、各委員会の開催及びその日程は、それぞれの委員会に委ねる。

(5) 東京電機大学経営同友会歴代会長

歴 代	氏 名
初 代	竹内 保
第2代	横田 等

(宮崎 登 記)

2008年

(平成20年)

2月

第21回経営同友会
(第4回ビジネス交流会)◆講演 「これからのブロードバンド・
ユビキタス社会とNTT」

日本電信電話株式会社

代表取締役副社長 宇治 則孝 氏

内容: 情報通信技術 (ICT) がどのように社会・ビジネスを変えるかについて、日本の ICT 戦略、ユビキタスネットワーク、情報流通の背景と特徴、NGN (次世代ネットワーク) の目指すもの等について解説。また、新映像配信サービス (IPTV)、健康管理、保健指導、ヘルスケア、防災情報コミュニケーションシステム、安心安全な社会の実現に向けた研究開発とその取り組み、家電との連携、社会の構造変化と ICT 等、様々な分野と連携・融合するシステムについて解説。

(270名参加)

6月

第8回 20年度経営同友会総会

・役員改選

退任幹事 山口 純一 氏

 新任幹事 石黒 鐵彦 氏、関根 成憲 氏、
水野 満 氏

第22回経営同友会

◆企業紹介 「東洋熱工業株式会社」

取締役営業本部長

奈良部隆信 氏

執行役員技術本部次長

岩宮 正治 氏

「川北電気工業株式会社」

専務取締役 石黒 鐵彦 氏

7月

公開講演会

◆講演 「ロボットベンチャーの創業」

株式会社夢工房

代表取締役社長 藤野 裕之 氏

10月

公開講演会

◆講演 「起業体験 入社から32年の軌跡」

日研エレクトロン株式会社

代表取締役社長 柳田 裕二 氏

第23回経営同友会

◆講演 「第三の開国に向けて」

～国際共生の時代に企業は

どう向かい合うべきか～

株式会社野村総合研究所

取締役会長兼社長 藤沼 彰久 氏

内容: 成熟する日本とグローバル化の進展、日本の中で進行する「ガラパゴス化現象」、「第三の開国」の必要性、「第三の開国」時代にすべきこと、について解説。

(242名参加)



(藤沼 彰久 氏)

11月

公開講演会

◆講演 「起業体験 シニアベンチャーへの挑戦」

ユーエム・コンサル&サーブ

代表 水野 満 氏

第6回アイデアコンテスト

●応募数 工学部 6 件、理工学部 3 件
情報環境学部 1 件 計 10 件●表彰 優秀賞 1 件、奨励賞 3 件
努力賞 3 件

協賛賞

TDU産学交流会賞 1 件

TDU同窓会賞 1 件

計 9 件表彰

経営同友会

役員会4回開催

学園主要事項

9月30日 情報環境学部が文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」に選定された

国内および国外の主要な出来事

- 3月14日 日本初の「自前の施設」である実験棟「きぼう」を国際宇宙ステーションに設置することに成功
- 7月 7日 北海道・洞爺湖サミット開催
- 7月11日 アップル社の「iPhone」が日本で発売開始
- 8月 8日 北京オリンピック開幕
- 10月 1日 松下電器産業が社名をパナソニック株式会社に変更
- 10月 7日 南部 陽一郎 名誉教授(シカゴ大学)、小林 誠 教授(高エネルギー加速器研究機構)、益川 敏英 名誉教授(京都大学)がノーベル物理学賞を受賞
- 10月 8日 下村 脩 名誉教授(ボストン大学)がノーベル化学賞を受賞

2009年

(平成21年)

1月

第24回経営同友会 (第5回ビジネス交流会)

◆講演 「チャレンジを納税者にできる日本に」
社会福祉法人 プロップ・ステーション
理事長 竹中 ナミ 氏
内容：超高齢化といわれる時代を迎え、高度なケアを必要とする人たちの人口比率が高まる中、働く意欲を持つ人が就労のチャンスを得て、社会参画や納税というかたちで「支える側」に回ることの出来る社会システムの構築が、これからの日本には、必要である。「コンピューターネットワークを活用した在宅ワーク」を含む広範な就労の創出に向け、産・官・学・民・メディアの全ての人たちと連携しながら、目標に向かっていく心構えが必要。

(208名参加)

(来賓 国土交通省 顧問 安富 正文 氏)



(竹中 ナミ 氏)

6月

第9回 21年度経営同友会総会

・役員(幹事)の交替を承認
新会長 松尾 隆徳 氏
顧問 横田 等 氏
(前経営同友会 会長)
副会長 阿高 松男 氏、鈴木 茂昭 氏
常務幹事 護田 一郎 氏

第25回経営同友会

◆企業紹介 「株式会社NTT・PC
コミュニケーションズ」
代表取締役社長 石田 守 氏

「アンリツ株式会社」
執行役員 経営企画室長兼
環境推進センター長
小熊 康之 氏

11月

第26回経営同友会

◆講演 「新しい発想で未来を拓く」
学校法人 東京電機大学
学術顧問 吉川 弘之 氏
内容：1. 発想：発想とは独創的なものではなくて、しっかりと情報を集め、間違いのない手順をもって考えていくうち到達するものである。確実に到達するとはいえないところが問題である。
2. 現代のイノベーション：シュンペーターが経済活動において硬直化した産業構造を革新する“創造的破壊”と呼んだ。しかし、壊してはいけないものがある。結果が持続性向上につながらなければならない。
3. 拓く=本格研究：多領域の研究者、基礎研究者、応用研究者、実現技術者の組織的協力が必要。
4. エネルギー学：人類のエネルギー問題を学問領域として確立する必要がある。
(233名参加)
(来賓 足立区長 近藤やよい 氏)



(吉川 弘之 氏)

12月

第7回アイデアコンテスト

●応募数 工学部 4 件、理工学部 4 件、
情報環境学部 1 件 計 9 件
●表彰 優秀賞 1 件、奨励賞 3 件、
努力賞 4 件
協賛賞
TDU産学交流会賞 1 件
TDU後援会賞 1 件
TDU同窓会賞 1 件

計 11 件表彰

第7回 TDU 学生 アイディア コンテスト

閃きが世界を変える

A lightning-bolt idea changes the world.

アイデア募集 あなたのアイデアをお寄せください

A 部門：応募者の専門分野に係る発明・考案に関する部門（専門分野の研究成果物）
B 部門：応募者の専門分野に限らない発明・考案に関する部門

対象者：学部生、大学院生
申込期間：2009年10月26日（月）～11月16日（月）まで
展示期間：2009年11月30日（月）～12月4日（金）まで
展示会場：神田キャンパス、麹山キャンパス、千歳ニュータウンキャンパスの各キャンパスに展示する。
発表・審査・表彰会場：2009年12月5日（土）15:00～ 神田キャンパス 7号館3階7303B教室
申込書：学部生、大学院生は所属各学科長（専攻主任）経由で応募先に応募する。
Web 参照（申込書・原稿作成要領も含む）
<http://www.sos.dendai.ac.jp/gakusei/index.html>
主催：東京電機大学経営同友会 協賛：（社）東京電機大学校友会 東京電機大学同窓会
共催：東京電機大学 東京電機大学後援会 TDU 産学交流会

(アイデアコンテスト募集ポスター)

経営同友会

役員会4回開催
「同友会」「大学」「校友会」連絡会議 2回開催

学園主要事項

7月 7日 学生支援センターが文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」に選定される

国内および国外の主要な出来事

1月18日 世界最初の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」など人工衛星計8基搭載したH-IIAロケット15号機、種子島宇宙センターから打ち上げ成功
1月20日 第44代アメリカ大統領にバラク・オバマ氏が就任
3月14日 JR7社が一斉にダイヤ改正を実施。東日本旅客鉄道（JR東日本）の首都圏、仙台圏のSuicaエリアの拡大。北海道旅客鉄道（JR北海道）のIC乗車券KitacaとSuicaの相互利用を開始
3月31日 モバイル放送サービス終了
7月10日 アンドロイド・スマホ発売
9月18日 日本初の宇宙ステーション補給機（HTV）の初号機が国際宇宙ステーション（ISS）への接続に成功
10月22日 Windows 7 一般販売開始
11月19日 小惑星探査機「はやぶさ」が11月9日からイオンエンジンのトラブルが原因で地球への帰還が危ぶまれていた問題で、宇宙航空研究開発機構が帰還できる見通しになったと発表



(講演会の模様)

2010年

(平成22年)

2月

第27回経営同友会 (第6回ビジネス交流会)

◆講演 「グローバル化時代の企業経営」

株式会社東芝

取締役会長 西田 厚聰 氏

内容：原子力・半導体ビジネスの展開と市場の見極めを迅速に判断し、積極的な設備投資を行ってきた。原子力大手のウェスティングハウス・エレクトリック社を54億ドルで買収することを決定するなど、例がないほどの積極投資を行い、2006年度からの3年間で2兆4千億円の投資計画を決断してきた。

(292 名参加)



(西田 厚聰 氏)

6月

第10回 22年度経営同友会総会

第28回経営同友会

◆研究紹介 「地震防災機器の研究開発：

地震と耐震・免震・制震」

工学部機械工学科

教授 藤田 聡 氏

「熱可塑性接着剤と誘導加熱を用いた壁登りアクチュエータ」

理工学部理工学科

電子・機械工学系

教授 富田 英雄 氏

「ネットワークリソースの効率的活用と高速暗号技術による革新的データバックアップ技術」

情報環境学部情報環境学科

教授 宮保 憲治 氏



(講演会の模様)

10月 第29回経営同友会

◆研究紹介 「地域冷房に用いる氷水搬送方式に関する基礎的研究」

未来科学部建築学科
准教授 百田 真史 氏

「再生医療・人工臓器と電子機械工学」

理工学部理工学科
電子・機械工学系
教授 舟久保昭夫 氏

◆講演 「Intellectual Nourishment (頭の栄養)」

日本通信株式会社

代表取締役社長 三田 聖二 氏

内容：現代の我々にとって情報は、経済や社会、個人のクオリティ・オブ・ライフに対しても影響力の大きいものとなっている。情報活用に必要な IT の発展は技術面だけでなく制度面での革新が必要だが、日本はこの点で世界のリーダーシップをとれる環境にある。この環境を最大限に活かして、人々が次世代インターネットの恩恵を享受できる方向に進んで行く意味と取り組みを解説。



(三田 聖二 氏)

12月 第8回アイデアコンテスト

- 応募数 計 13 件
- 表彰 優秀賞 該当なし
奨励賞 3 件、努力賞 3 件
経営同友会賞 1 件

協賛賞

TDU産学交流会賞 1 件
TDU同窓会賞 1 件

計 9 件表彰



経営同友会

役員会 3 回開催

学園主要事項

- 4月 1日 情報環境学部開設10周年
- 4月 1日 財団法人大学基準協会による大学基準適合認定

国内および国外の主要な出来事

- 1月 1日 日本年金機構発足(社会保険庁廃止)
- 5月 1日 上海万博開幕(246の国と国際機関などが参加)
- 6月13日 世界初となる天体に着陸してのサンプルリターンに成功した小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還、機体は大気圏再突入時に燃え尽きた。翌日、小惑星イトカワから採集したサンプルの入ったカプセルが回収された
- 10月 6日 鈴木 章 名誉教授(北海道大学)、根岸 英一 特別教授(米・パデュー大学)がノーベル化学賞を受賞
- 12月 4日 東北新幹線は新青森駅まで全線開通
- 12月 7日 日本の金星探査機「あかつき」が金星に到達

2011年

(平成23年)

2月

第30回経営同友会 (第7回ビジネス交流会)

◆研究紹介 「社会貢献をマーケティングに
活かす仕組みづくり」
工学部人間科学系列
准教授 世良 耕一 氏

「自然エネルギーの光と影」
工学部電気電子工学科
教授 加藤 政一 氏

◆講演 「独創的技術と新事業創出への夢」
株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
代表取締役社長 高橋 常夫 氏
内容：企業30年説はまだあるか、独創的な技術
へのチャレンジ事例、独創的な技術と事業
創出とのギャップ、および、新機能創造と
新価値創造(価値のデザイン)について、
企業経営者として構想を实践して成果を上
げた理念を解説。

(189名参加)



(高橋 常夫 氏)

6月

第11回 23年度経営同友会総会

・役員改選
関根 成憲 氏 退任 (他全員留任)
・会則 / 細則の変更

第31回経営同友会

◆研究紹介 「中国への直接投資の現況と課題」
未来科学部人間科学系列
教授 阿部 一知 氏

「省エネ法に基づく省エネルギーの
進め方」
工学部機械工学科
教授 高村 淑彦 氏

◆講演 「超高感度カメラ誕生を駆り立てたもの」
～高知ではぐくまれた個性～
日本放送協会 放送技術研究所
前副所長 谷岡 健吾 氏
内容：高感度カメラをなぜ開発しなければならな
かったのか。高感度カメラの効用の実例を
紹介すると共に、超高感度 HARP 撮像管
の発明に至る経緯と、執念で高画質撮像
管を誕生させた秘話を、これからの研究者、
技術者の皆さんにメッセージとして講演。



(谷岡 健吾 氏)



HARP撮像管

(ハイビジョン超高感度HARPカメラ)
[谷岡 健吾 氏 講演資料より]

10月 第32回経営同友会

- ◆研究紹介 「食品の産地を判別する分析技術」
工学部環境化学科
准教授 保倉 明子 氏

「感性に寄り添うデザイン」
～物語を紡ぐ空間～
理工学部理工学科
情報システムデザイン系
教授 勝又 洋子 氏

- ◆講演 「国際熱核融合実験炉プロジェクトを語る」
前ITER国際核融合エネルギー機構長
日本原子力研究開発機構フェロー
財団法人リモート・センシング技術センター
常務理事 池田 要 氏

内容：永年にわたり、科学技術の振興、原子力・宇宙などの開発業務に取り組む。その後、宇宙開発事業団理事を経て、駐クロアチア特命全権大使を務めた縁で国際核融合実験炉(ITER)プロジェクトの責任者となる。ITERは日本、欧州連合、露国、および米国により1985年に核融合エネルギー開発の国際協力として発足し、2001年には工学設計を基に建設に向けて動き出し、中国、韓国そしてインドも加わり、国際協定の下に、南フランスのカダラッシュに建設が決まった。そのプロジェクトの概要を講演。
(204名参加)



(池田 要 氏)



経営同友会

役員会3回開催
ホームページ全面リニューアル
12月役員会にて、教育特別委員会をB・S・C委員会に改変し、さらに発展させる事を決議

学園主要事項

9月28日 文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に選定される

国内および国外の主要な出来事

- 1月22日 JAXAの宇宙ステーション補給機 HTV-2 (通称「こうのとり」2号) が打ち上げられる
1月27日 ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCE)が次期携帯型ゲーム機の名称をPlayStation Vitaに決定
2月26日 任天堂初の3D携帯ゲーム機「ニンテンドー3DS」発売
3月11日 日本時間午後2時46分頃、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生。マグニチュード9.0で日本国内の観測史上最大。日本では戦後最悪の自然災害となった。岩手県大槌町や大船渡市、宮城県気仙沼市など大津波による壊滅的なダメージを受けた。巨大地震は福島第一原子力発電所にも深刻なダメージを与えた
6月20日 理化学研究所と富士通が共同開発した次世代スーパーコンピューター「京(けい)」が、世界最高性能の8.162ペタフロップスを達成し7年ぶりに首位を奪還
7月24日 地上アナログテレビ放送がこの日をもって停波し、地上デジタル放送に完全移行
10月31日 国連人口基金は世界の人口が70億人を突破したと発表
12月1日 皆既月食が日本各地で観測される



(池田 要 氏 講演会の模様)

2012年

(平成24年)

2月

第33回経営同友会 (第8回ビジネス交流会)

◆研究紹介 「環境をつくる」

～環境づくりのrhizomeにみる

「建築計画」の役割～

未来科学部建築学科

准教授 山田あすか 氏

「意図をつたえる、意図をよみとる」

理工学部理工学科

情報システムデザイン学系

教授 小林 春美 氏

◆講演 「理想の車のステアリングをめざして」

～自動車の操縦装置の研究・開発
について～

株式会社本田技術研究所

主任研究員 清水 康夫 氏

(市村産業本賞受賞、紫綬褒章受章)

内容：1. 私がステアリングに賭けた道のり

2. 本田技研のスピリット

[本田・藤沢精神は生き続けている]

3. ステアリングの研究・開発の動機づけ

4. 世界一のステアリングをめざして

5. 次の世代を担う学生の皆さんに

(157名参加)



(清水 康夫 氏)



(清水 康夫 氏との懇親会の模様)

6月

第12回 24年度経営同友会総会

- ・会則の変更(所在地を北千住に変更)を承認
- ・ビジネス・シェアード・コミュニティ(B・S・C)委員会発足を承認

・役員改選

幹事：遠山 功 氏、沖 雄一 氏を選任

B・S・C 委員長に遠山 功 氏、

副委員長に沖 雄一 氏を選任

会長付 神戸 康吉 氏

B・S・C 委員会担当に任命

会長付 水野 満 氏 総務委員会担当に任命

第34回経営同友会

◆研究紹介 「次世代型ヒートポンプシステム

研究開発／高密度冷熱ネットワーク
の研究開発」

未来科学部建築学科

教授 射場本忠彦 氏

「地盤の液状化による戸建て住宅の
対策」

理工学部理工学科

建築・都市環境学系

教授 安田 進 氏

◆講演 「人を中心としたオートメーションに 向かって」

アズビル株式会社 代表取締役社長

執行役員社長 曾禰 寛純 氏

9月

研究推進社会連携センター (CRC)発足

東京電機大学学長(経営同友会特別顧問)古田勝久氏が経営同友会役員会にてCRC発足の趣旨を説明。

「平成24年10月1日に研究推進社会連携センター(CRC)を発足させる。産官学交流センターと研究企画室を統合し、東京電機大学の次の100年に向けて、日本の技術・生産力を底上げ出来る人材を育成していく。同友会役員各位の協力をお願いします。」

10月 第35回経営同友会

- ◆研究紹介 「最近のサイバー攻撃とその対策」
 未来科学部情報メディア学科
 教授 佐々木良一 氏

「クラウドと超分散ネットワークを
 活用した高信頼ディザスタリカバリ
 技術の開発」
 情報環境学部情報環境学科
 教授 宮保 憲治 氏

- ◆講演 「リニアモーターカーの開発を支えた
 思想的背景」
 京三エンジニアリングサービス株式会社
 常務取締役 上西寛一郎 氏
 内容：新幹線の次の都市間交通機関として開発
 が進められてきたリニアモーターカーは、
 研究着手から49年を経て、JR東海による
 東京・名古屋間の建設が決まった。国鉄
 時代から一貫して超電導磁気浮上方式に
 こだわり続けた大儀と、技術的、社会的
 背景について足跡を振り返る。
 (154名参加)



(上西寛一郎 氏)



経営同友会

臨時役員会 (2回開催)
 役員会 2回開催

学園主要事項

東京千住キャンパス開設



- 10月 1日 研究推進社会連携センター (CRC) 発足
 10月 2日 文部科学省「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体
 制整備事業」に選定される

地 域

足立区制80周年記念事業「あだちメッセ 2012」を開催
 会場：東京電機大学「東京千住アネックス」

国内および国外の主要な出来事

- 5月22日 東京スカイツリー開業
 7月27日 ロンドンオリンピック開催
 8月 6日 NASA 火星探査機キュリオシティが火星に着陸
 10月 8日 山中 伸弥 教授(京都大学)がノーベル生理学・医学賞
 を受賞
 10月26日 マイクロソフト、「Microsoft Windows 8」発売開始
 12月16日 衆院選挙で自民党圧勝、民主党大敗

2013年

(平成25年)

2月

第36回経営同友会 (第9回ビジネス交流会)

◆研究紹介 「エネルギー問題とスマートグリッド」
工学部電気電子工学科
教授 加藤 政一 氏

「風力発電の現状と今後への期待」
工学部電気電子工学科
教授 西方 正司 氏

◆講演 「ITとエネルギー」
～エネットの取り組み～
株式会社エネット
代表取締役社長 池辺 裕昭 氏
内容：株式会社エネットは、株式会社NTTファシリティーズ・東京ガス株式会社・大阪ガス株式会社が共同出資した電力小売り事業者。それぞれが得意とする情報流通分野とエネルギー分野の融合により、これまで培ってきた膨大なノウハウの相乗効果を最大限に発揮し、新しい付加価値事業やソリューションビジネスを積極的に展開する。
(150名参加)



(池辺 裕昭 氏)



(池辺 裕昭 氏 講演会の模様)

6月

第13回 25年度経営同友会総会

・役員改選
監事 退任 井上 輝男 氏
新任 小笹 俊一 氏
会長付 退任 神戸 康吉 氏

第37回経営同友会

◆研究紹介 「電力システムを支える変電機器」
工学部電気電子工学科
特別専任教授 鈴木 克巳 氏

「浅海域の波浪制御と環境創造」
理工学部理工学科
建築・都市環境学系
教授 中井 正則 氏

◆講演 「一土木屋が失敗と一流プレーヤーの言葉から学んだこと」
東電設計株式会社
代表取締役社長 増田 民夫 氏
内容：1. ダム建設での失敗から学んだこと。
揚水発電所・栗山ダムの湛水池からの浸透水を抑止する工事（止水工事）から得た教訓。
2. 一流プレーヤーから学んだこと。
「山下 泰裕 氏と青木 功 氏」の言葉。
「理想の姿に向けてのひたむきな努力」
(178名参加)
(来賓 足立区長 近藤やよい 氏)



(増田 民夫 氏)

10月 第38回経営同友会

◆研究紹介 「電力変換回路の開発」

工学部電気電子工学科

教授 柁川 重男 氏

◆企業紹介 「東洋電機株式会社」

国内市場開拓部

部長 藤田日出生 氏

◆講演 「モバイルサービスの進化と
新たな価値創造への取り組み」

株式会社NTTドコモ

取締役相談役(前社長)

山田 隆持 氏

内容：ドコモの歴史とiモードの進化・衰退に学んだこれからの研究と開発、および開発中のシステムの課題等。NTTドコモが単なる土管にならないことが大切。

(170名参加)



(山田 隆持 氏)



経営同友会

役員会 3 回開催

学園主要事項

7月29日 TDU CRC PRESS Vol.1 発行

10月 2日 サイバーセキュリティ研究所の設置

国内および国外の主要な出来事

2月15日 ロシアのウラル地方チェリャビンスク州で直径17mの隕石落下、1,491名の負傷者が多数出た

3月23日 各地で使用されている10種類の交通系 IC カードの相互利用が開始された

9月 7日 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定

11月 1日 携帯電話番号の逼迫に伴い、従来PHSで使われてきた070番号が割り当てられる



(西方 正司 教授のハイブリッド風力発電システム)

2014年

(平成26年)

2月

第39回経営同友会 (第10回ビジネス交流会)

◆研究紹介 「EAM プレーキデバイスの開発と
その上肢トレーニング装置への
応用」
～重くないパーベルの開発～
工学部機械工学科
教授 三井 和幸 氏

◆企業紹介 「フクダ電子株式会社」
取締役 開発本部副本部長
白川 修 氏

◆講演 「2014年どうなる中国、韓国、そして世界」
～技術立国日本はどうする～
産経新聞社特別記者
編集委員兼論説委員 田村 秀男 氏

内容：1. デフレはなぜ悪いのか
2. 消費増税で日本は、よくなるのか
3. 貯めた富が国内で生かされない日本
4. お札を刷ってもインフレにならない理由
5. 中国、韓国はなぜ円安に敵意を抱くのか
6. 日本はなぜアメリカに貢ぐのか
7. アベノミクスで生活は豊かになるのか
(113名参加)



(田村 秀男 氏)



(田村 秀男 氏 懇親会の模様)

3月

第1回アドバイザーによる 経営セミナー

◆講演 「日本で、物づくりで生きる道」
アストロデザイン株式会社
代表取締役社長 鈴木 茂昭 氏
内容：自身の経験に基づき、経営や企業に関するノウハウを解りやすく解説。
(30名参加)



(遠山 功 B・S・C 委員長の挨拶と会場の風景)

5月

第14回 26年度経営同友会総会

第40回経営同友会

◆講演 「科学技術イノベーション時代の経営」
三菱電機株式会社
相談役(元会長・社長)
野間口 有 氏
内容：企業、公的研究機関の経営を経験した
立場から科学技術イノベーション時代の経営への思いと、我が国そして世界の持続
的成長のために科学技術イノベーションに
携わる人が留意することについての考えを
講演。
(180名参加)
(来賓 足立区長 近藤やよい 氏)



(野間口 有 氏)

7月 第1回経営同友会懇親ゴルフコンペ

10月 第41回経営同友会

◆研究紹介 「スマートフォンを用いた環境計測
技術と新しいサービスの展開」
未来科学部情報メディア学科
准教授 岩井 将行 氏

◆企業紹介 「株式会社計測技術研究所」
取締役会長 平野 健治 氏

◆講演 「今、改めて天職論を見直す」
東京電機大学 電子工学科卒
弁護士 小柴 文男 氏
内容：今、職業のあり方が問われている。近時、
職場や家庭、さらには国家単位で大きな
議論になっている職業に関する諸問題に
スポットを当て、その矛盾解消の一つの切
り札として、職業のあり方として先人達の
智慧が残してくれたいわゆる「天職」という
生業形態を、今、改めていろいろな視線か
ら見直すことが必要。

(170名参加)



(小柴 文男 氏)

11月 第2回アドバイザーによる
経営セミナー

◆講演 「CAE の夢を追い続けて」
株式会社くいと
代表取締役会長 石井 恵三 氏
内容：CAE(コンピューター援用工学)は、今や「も
のづくり」には欠かすことの出来ない道具
になった。しかし、そこで使われるソフトウ
ェアは海外製品がほぼ市場を独占してい
る。ソフトウェアは世界と戦う有力な道具
であり、少しでも日本発のソフトウェアで製
造業の役に立とうと思い立ち起業した。
(29名参加)



経営同友会

役員会 3 回開催
「経営同友会案内パンフレット」更新

学園主要事項

- 3月11日 情報処理学会第76回全国大会が東京電機大学東京
千住キャンパスで開催
- 4月 1日 学校法人東京電機大学中期長期計画
～ TDU Vision2023 ～をスタート
- 9月 2日 文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」に
選定される

国内および国外の主要な出来事

- 2月22日 ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)が「プレ
イステーション 4」を日本で発売
- 4月 1日 消費税8%へ移行
- 4月 7日 Windows XPのサポート期間終了
- 6月21日 世界遺産委員会で「富岡製糸場と絹産業遺産」が世界
遺産に登録
- 10月 7日 赤崎 勇 教授(名城大学)、天野 浩 教授(名古屋大学)、
中村 修二 教授(米カリフォルニア大学)がノーベル物理
学賞受賞
- 10月 9日 LINEの利用者数が5億人を超える

2015年

(平成27年)

1月

第42回経営同友会
(第11回ビジネス交流会)

- ◆研究紹介 「コンピュータ外科について」
～手術支援ロボットと三次元医用
画像表示～
工学部機械工学科
教授 土肥 健純 氏

- ◆企業紹介 「株式会社コスミック エム イー (CME)」
代表取締役 五十嵐光夫 氏

- ◆講演 「1割が変われば会社は変わる」
～仕組みの改革とマインド改革による
構造改革～
キャノン電子テクノロジー株式会社
取締役会長 鈴木 滋彦 氏

内容：危機的状況にある会社の改革と、危機的状況ではないが数々の問題を抱え、能力を十分に発揮できていない会社の改革について、NTT ソフトウェアと NTT アドバンステクノロジーの両社の構造改革の実践を事例に「仕組みの改革」と「マインドの改革」の面から明らかにすることで如何に会社は変わるかを講演。

(118 名参加)



(鈴木 滋彦 氏)

4月

第3回アドバイザーによる
経営セミナー

- ◆講演 「ビデオゲームの始まりとものづくり」
株式会社タイトー
技術アドバイザー 西角 友宏 氏
内容：ビデオゲームの最初のヒットゲームであるスペースインベーダーの生みの親として、開発の経験や苦労話を講演。

(20名参加)

5月

第2回経営同友会懇親ゴルフコンペ

6月

第15回 27年度経営同友会総会

- ・経営同友会のご案内パンフレット改訂を承認
- ・会則／細則の改正を承認
- ・役員改選に伴う役員選任
退任 会長 松尾 隆徳 氏
(一社)東京電機大学校友会理事長に就任済
退任 常務幹事 護田 一郎 氏
他の現役員は留任
新任理事 渡辺 貞綱 氏、村田 耕治 氏
- ・臨時役員会にて、互選より役職を決定
会長 渡辺 貞綱 氏
常務幹事 小林清一郎 氏
常務幹事補佐 村田 耕治 氏
顧問 護田 一郎 氏

第43回経営同友会

- ◆講演 「働く人々の心と体の健康を求めて」
北里大学 名誉教授 相澤 好治 氏
内容：1. 磁界測定で見られる緩和の遅延は細胞骨格の機能不全である
2. 緩和に影響を与える化学物質は細胞有害性を示唆
3. 化学物質とくに難溶性物質の安全性評価スクリーニングに細胞磁界測定を利用する可能性
4. 細胞膜の変化を示す細胞内酵素の逸脱や形態学的観察も行い総合的に評価
5. 継代細胞培養株の使用も可能
6. 有害性を示す物質には、小動物への曝露によりin vivoの影響を確認する必要
(151名参加)



(相澤 好治 氏)

9月

第4回アドバイザーによる
経営セミナー

◆講演 「私の考える企業と経営」

ジオ・サーチ株式会社

代表取締役社長 富田 洋 氏

内容：起業を目指すものは明確なビジョンを持ち、エネルギーでパワフルに活動すべきである。この起業が人の為になる事業であるかを見極め、リスクを選考して状況の変化や現実への的確な対応が求められる。

(30名参加)

11月

第44回経営同友会

◆研究紹介 「脳血管障害等に伴う手指麻痺改善のハンドリハビリテーション装置」

理工学部理工学科

准教授 大西 謙吾 氏

「視聴覚ガイドを用いた手動車いす
移乗動作リハビリテーションロボットの開発」

国際医療福祉大学

講師 出口 弦舞 氏

◆講演 「科学技術と社会」

毎日新聞デジタル報道センター

編集委員 元村有希子 氏

内容：若い世代が新聞を読まなくなっていることから、デジタル化への切替え戦略の中心を担っているのがデジタル報道センターです。最近、私が提案して始めたのは「注目ニュース90秒」という動画です。1分半で解説するというものです。

科学には白黒つかないものがたくさんあって、マスコミの科学報道としては、分かった、見つけたということだけを報道するのではなく、これが分からない、ここは解明されていないということもきちんと伝える必要があります。

(115名参加)



(元村有希子 氏)

11月

第5回アドバイザーによる
経営セミナー

◆講演 「世界王者への道」

女子プロボクサー 藤岡奈穂子 氏

内容：女子プロボクシングの世界で3階級の世界王者を有している。王者として高みに立つと思う心が変わる。一歩下がって自分を見つめ、常にプラス思考で物事を受け入れ、親をはじめ多くの人々に感謝する気持ちで生きていきたい。

(20名参加)



経営同友会

役員会 3 回開催

「経営同友会案内パンフレット」最新版発行

経営同友会運営委員会 2 回開催

学園主要事項

2月 1日 東京千住キャンパス第2期計画 (I街区・5号館建物) 着工

国内および国外の主要な出来事

10月 5日 大村 智 特別荣誉教授(北里大学)がノーベル医学・生理学賞受賞決定

10月 6日 梶田 隆章 教授(東京大学)がノーベル物理学賞受賞決定



21世紀の技術者

東京電機大学経営同友会
副会長

鈴木 茂昭

当分、人間のほうが強いと思われていた囲碁で、世界最強のプロ棋士がコンピュータソフトに負けるなど、最近急速に人工知能の能力向上が目につくようになりました。一説では2040年台には技術的な特異点(Technological Singularity)が生じ、世界が激変するとのこと。そうなるかどうかはともかく、技術は「ムーアの法則」で代表されるように指数関数的に進化しています。そのような時代にあって、これからの技術者はどのような技術を身につけていけば生きていけるのか、東京電機大学は学生に何を教えればいいのか、深刻な課題です。

技術革新の中核には、高性能で均質な製品を他社よりも安く量産するという資本主義の基本要求がありますが、後発企業ほど安価で高性能な部品を使えるため、先行企業がすぐ追い越されて電子産業が将来の夢がない商売になってしまっています。ソフトウェアについても自動化が進み、コンピュータ言語など必要無くなる方向に向かっています。このまま行くと、必要な製品はAI(人工知能)に任せておけば、何でも出来てしまいそうです。

最先端の技術もすぐに陳腐化し、次の技術に取って代わられます。技術者が先端技術を使えることは必要ではあるが最重要項目ではない事を認識するべきです。どのように技術が進化しようとも、物事には不変の原理があり、これを身につける事が最強の鎧となります。そして、先端技術の刀を使いこなすのが技術者の戦い方だということです。

更に、良い技術者になるためのもっと重要な事柄があります。それは、マニアックなアマチュア精神、数寄物、オタク、と呼ばれるような科学技術、自然現象、物づくり等に対する深い興味を持てる人間であれ、ということです。物の無い時代には、人が持っているのと同じものが欲しいのが基本要求でした。しかし現代では人と違うものを持ちたいのが基本要求ではないでしょうか。AIが最先端の綺麗な製品を安く提供してくれても、それは当たり前であり、嬉しくなんかない時代が来ます。人の個性に合わせて商品も個性化するのです。それが文化ではないでしょうか。その文化を創り出せるのが最も良い技術者です。わが東京電機大学には、子供時代から物づくりやコンピュータいじりにはまりすぎた若者の吹き溜まりの様な存在であり続け、良い技術者を育成し続けてほしいのです。



橡(とち)の実

東京電機大学経営同友会
理事

佐々木弘忠

「山川の末に流るる橡殻も身を捨ててこそ浮かむ瀬もあれ」は古い成語で、大方もご存じでしょう。私が心している一つです。大戦後に武道復活の可否が議論されていた頃、剣道を習いました。練習では全力で打って出ろ、思い切って全身でぶつかれ、と叱咤されましたが、終っての懇談では引例を交えながらの指導がありました。身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ、はその代表例です。最近は「必死になって頑張れば」とか「身を投げ出す覚悟があつてこそ窮地を脱し活路を見いだせるのだ」などと使われているようです。

私は退職してから15年です。その間退歩こそすれ前に進むことの無い者に、先への提言をする資格は無いのですが、TLOと経営同友会の産学連携支援のコーディネータになっているので、その活動の一端を述べさせていただきます。

本学が特許取得、市場開発中のテーマに超分散技術HS-DRTがあります。各専門分野の先生が力を合わせ強力な技術に仕上げてあり、先生方も超多忙のなか、市場訪問や展示会での説明に努めるなどその活力には頭が下がります。一方賛同している企業は自社の経営に苦しみながらも、同技術の商品化、市場開拓に奔走しています。私も企業訪問など共に行動し、チームの推進力向上に努め、三位一体で是非、活路を見出したいと活動しています。

次のステップは商用化の具現です。医療系システムを得意とする企業へ同技術のエンジンを提供し、実装状態での試験が行われています。医療系は大量の画像を含むデータを扱うので高速性に加えて、高いセキュリティを保証することが重要です。

次いで、ドローンへの搭載が進んでいます。開発したエンジン機能の一部は、高いセキュリティのもとで、制御系として活用されています。USAでの展示会でも大きな反響があったようで、今後の展開が楽しみです。

関係者全員が、熱い情熱で挑戦している姿は素晴らしいです。間もなく、冒頭の橡の実の如く大海に出られることを期待し、本学技術が社会に貢献できることを願っています。



継続は力なり

東京電機大学経営同友会
理事

多田 彰吾

私は、1970年に工学部電気工学科を卒業し株式会社協和エクシオ（旧協和電設株式会社）に入社しました。入社以来早いもので47年を迎え、取締役・事業本部長等を歴任して参りました。今回寄稿依頼のタイトルは、大変おこがましいので、私が常に感じている企業活動に対する考えと、経営同友会の「今後の課題」について私なりに記させていただきます。

大相撲では、稀勢の里が入門15年で初優勝し、横綱に昇進しました。私も大変嬉しく思いました。彼が横綱になれた最大の原因が何かは、「継続は力なり」です。企業も同じで、歴代の会長・社長、そして社員が必死に進めてきた努力により現在があるのだと思います。「継続は力なり」という言葉は一見簡単の様に见えますが、企業が成長していく過程には、大きな障害もあれば厳しい社会環境との戦いもあります。それらを乗り越えるには、知識と経験だけでなく、それに裏付けされた知恵が必要だと思います。千秋楽の稀勢の里は、苦手、白鵬に対して、15年間の苦手だった経験の上から考えた「立ち合い時の、踏み込む足を従来の右足から左足に変え、素早く左からの押し付けを強力にする技を取得した」事が大きな勝因となったと言われています。企業においても同じであり、古い習慣に囚われることなく、永い経験を土台にした新しい発想や、ある時にはそれを否定した改革を、勇気を持って行わなければならない時があると思います。

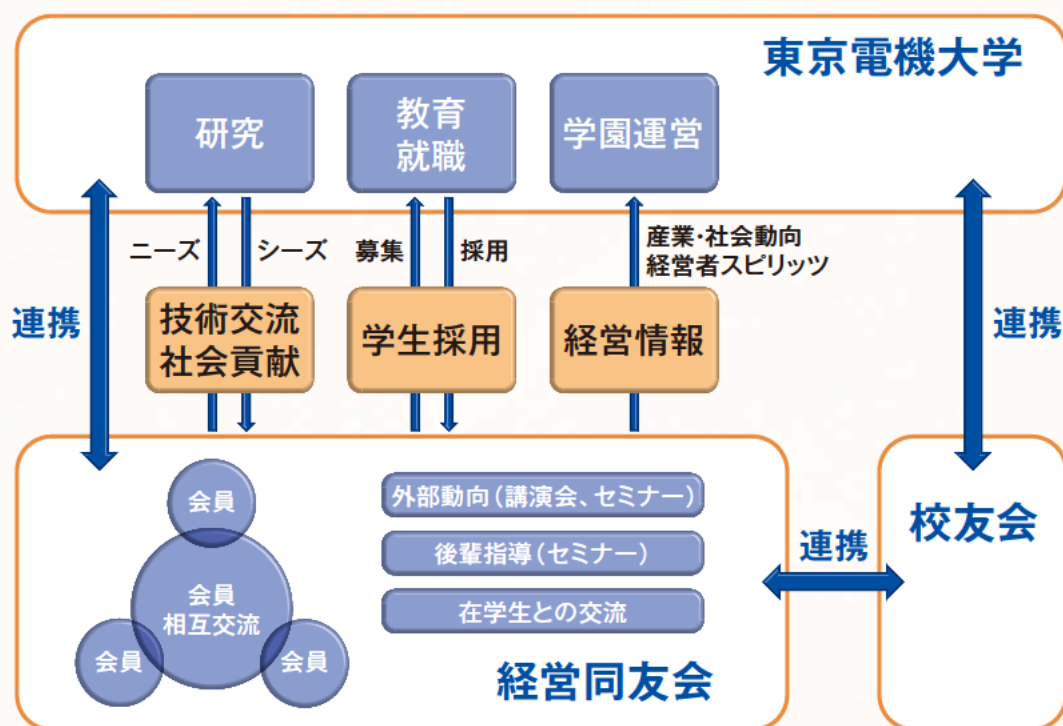
本会には、人脈・技術力・知恵等を持った方が多数おられます。また、本学には全大学でもトップ5に入る程の創業社長が多数現存します。これらのネットワークを本学と協調・強化し、大学のブランドを高めていく事が肝要であると思っています。本会が大学の「社会の窓口」として益々発展していくことを祈念しております。

経営同友会のこれから

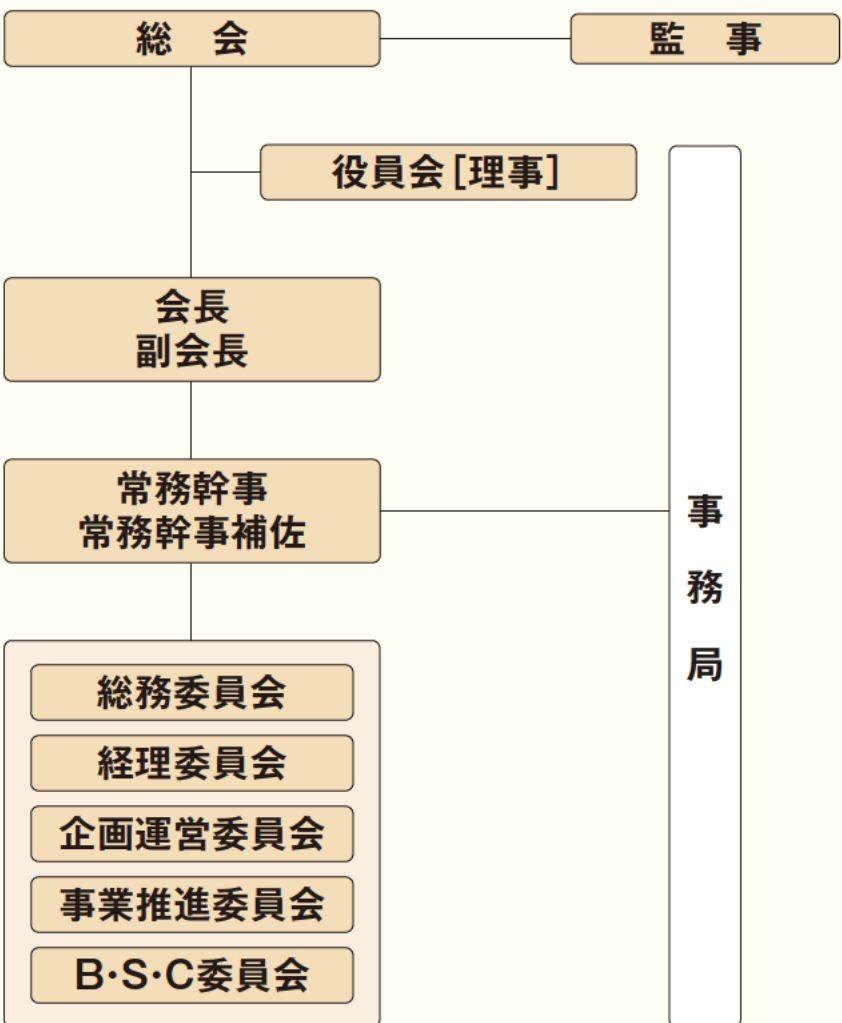
東京電機大学経営同友会の設立からの15年間は、ブロードバンドインターネット、i-modeサービス、iPhone等の登場によって、インターネットとモバイルが急速に発達し、EC(Electronic Commerce)を始めとする新たなサービスや産業が勃興した反面、中国等の新興国の追い上げによって、電機を始めとする製造業が衰退し、外資の軍門に降らざるを得なくなった等、社会と産業の構造が大きく変化した時代でもありました。今後も、電気自動車・燃料電池車、自動運転技術、IoT、AI等、さらなる技術革新による社会・産業構造の急激な変化が起きると予想されています。

このような変化に十分に対応していくためには、経営同友会の会員企業や東京電機大学が、建学の精神である「実学尊重」、および教育・研究の理念である「技術は人なり」を改めて問い直し、自らイノベーションを起こしていける体制の構築や人材育成を図る必要があります。

今回、15周年を機に経営同友会として何が出来るのか、何をなすべきなのかを掘り下げ、行動を起こしていきたいと考えています。



平成28年度 東京電機大学経営同友会の組織



平成28年度役職者

【会長】
渡辺 貞綱

【副会長】
清水 康夫
鈴木 茂昭

【理事】
飯塚 道夫
石黒 鐵彦
沖 雄一
佐々木弘忠
滝田 潔
高橋時市郎
多田 彰吾
遠山 功
森井 曠雄

【常務幹事】
小林清一郎

【常務幹事補佐】
村田 耕治

【監事】
阿高 松男
小笹 俊一



東京電機大学経営同友会 講演会等 対外行事一覧

年度	日付／名称	種別	講師／講演・紹介内容／結果
2001年度 平成13年度	平成13年4月23日 経営同友会発足の会(設立総会)	講演会	情報環境学部 教授 浜田 晴夫 氏 「大学における研究からライセンス・起業への道」
	平成13年7月18日 第2回経営同友会	講演会	日本経済新聞社 編集委員 井本 省吾 氏 「21世紀の経営に何が必要か」
	平成13年11月22日 第3回経営同友会	講演会	京セラコミュニケーションシステム(株) 代表取締役社長 森田 直行 氏 「21世紀型企業の創造とアメーバ経営」
2002年度 平成14年度	平成14年5月16日 第4回経営同友会・第2回総会	企業紹介	富士ソフトABC(株) 代表取締役会長 野澤 宏 氏
	平成14年10月17日 第5回経営同友会	研究紹介	フロンティア共同研究センター 特別専任教授 青木 秀希 氏 「アバタイト」 ～優れた人工歯根の開発成功～
		講演会	野村證券(株) 経営役 岩佐 昌治 氏 「21世紀の勝ち残り経営戦略」
	平成15年1月23日 第6回経営同友会	講演会	立教大学大学院教授 (セコム(株) 顧問) 加藤善治郎 氏 「情報通信基盤を活用したセキュリティーサービスの革新」
2003年度 平成15年度	平成15年5月15日 第7回経営同友会・第3回総会	企業紹介	日東工業(株) 相談役 加藤 勝一 氏
		研究紹介	情報環境学部 教授 新津 靖 氏 「三次元コンピュータグラフィックス(CG)技術開発」
	平成15年10月7日 第8回経営同友会	企業紹介	セコム(株) 常務取締役 小林清一郎 氏
		講演会	(株)NTTファシリティーズ FM事業推進本部副本部長 米川 清水 氏 「経営に生かすファシリティマネジメント」
	平成15年11月3日 第1回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	参加数 13 件、最優秀賞 2 件、優秀賞 2 件、努力賞 1 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
	平成15年11月12日 公開講座	公開講座	コベル電子(株) 代表取締役社長 前角 典男 氏 「スピニアウトから35年」 ～技術主導型経営の軌跡～
	平成15年12月17日 公開講座	公開講座	東日本国際大学 経営学博士 松本 峯治 氏 「ベンチャー企業におけるリスクマネジメント」
	平成16年1月20日 第9回経営同友会	講演会	理工学部教授 (21世紀COEプログラム事業推進リーダー) 古田 勝久 氏 「人間と機械の共生」
2004年度 平成16年度	平成16年5月13日 第10回経営同友会・第4回総会	企業紹介	FDK(株) 代表取締役社長 鈴木 惟司 氏
	平成16年10月5日 第11回経営同友会	企業紹介	(株)協和エクシオ 取締役 多田 彰吾 氏
		講演会	日本危機管理学会会長 石川 昭 氏 「わが国の大学と産業界の協調のあり方」
	平成16年10月31日 第2回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 13 件、優秀賞 3 件、技能賞 4 件、努力賞 3 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU同窓会賞 2 件
2005年度 平成17年度	平成17年1月18日 第12回経営同友会 (第1回ビジネス交流会)	講演会	(株)NTTドコモ 代表取締役副社長 石川 國雄 氏 「生活・ビジネスに役立つ携帯の今後の展望」
	平成17年5月12日 第13回経営同友会・第5回総会	講演会	日本電子(株) 技術・法規担当顧問 松浦 徹也 氏 「EUのWEEE & RoHS指令に伴う日本企業の選別と最新情報」 ～グリーン調達勝ち組になるために～
		企業紹介	新電元工業(株) 常務取締役 大川 譽夫 氏
	平成17年10月11日 第14回経営同友会	講演会	中華人民共和国 駐日本国大使館 参事官 黄 星原 氏 「中国ビジネスにおけるPR及びマスコミ活動」
	平成17年11月3日 第3回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 13 件、特別優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、努力賞 2 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU後援会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
2005年度 平成17年度	平成18年2月8日 第15回経営同友会 (第2回ビジネス交流会)	講演会	日本テレビ放送網(株) 代表取締役社長 久保伸太郎 氏 「放送界の展望」

年度	日付／名称	種別	講師／講演・紹介内容／結果
2006年度 平成18年度	平成18年6月7日 第16回経営同友会・第6回総会	講演会	(株)日立製作所 取締役 代表執行役 執行役会長 庄山 悦彦 氏 「科学技術創造立国を目指して」
	平成18年7月3日 公開講演会	講演会	東光(株) 元環境室長 高橋 信夫 氏 「環境管理・RoHS対応体制の確立」
	平成18年10月11日 第17回経営同友会	企業紹介	アストロデザイン(株) 代表取締役社長 鈴木 茂昭 氏 (株)NTTファシリティーズ 理事 営業本部 法人統括部長 小泉 泰之 氏
			コベル電子(株) 代表取締役社長 前角 典男 氏
	平成18年10月11日 公開講演会	講演会	AMSジャパン(株) 代表取締役社長 林 正昭 氏 「IT技術の世界的潮流」
	平成18年11月4日 第4回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 19 件、特別優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、努力賞 2 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU後援会賞 1 件、TDU同窓会賞 4 件
	平成18年11月29日 公開講演会	講演会	(株)セキュリティデザイン 取締役技術部長 沖 雄一 氏 「ベンチャー企業6年目の軌跡」 ～株式上場を目指して～
2007年度 平成19年度	平成19年6月5日 第19回経営同友会・第7回総会	講演会	未来科学部 学部長 教授 大園 成夫 氏 「未来科学部設置の趣旨と教育の取り組み」
		企業紹介	(株)三菱地所設計 技術情報部部長 林 和博 氏
	平成19年6月11日 公開講演会	講演会	(株)サン・ホーラム 代表取締役社長 岩淵 正昭 氏 「新しい営業の仕組みとは」
	平成19年10月10日 第20回経営同友会	企業紹介	ホーチキ(株) 代表取締役会長 岡田 榮一 氏 (株)関電工 特別顧問 石塚 昌昭 氏
			アイウェイズ(株) 代表取締役会長 遠山 功 氏 「起業体験 28歳でソフト会社設立」
	平成19年11月28日 公開講演会	講演会	ユニバルス(株) 代表取締役会長 吉本 喬美 氏 「起業体験 会社設立37年の軌跡」
	平成19年12月8日 第5回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 20 件、優秀賞 2 件、奨励賞 3 件、努力賞 5 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU後援会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
2008年度 平成20年度	平成20年6月4日 第22回経営同友会・第8回総会	企業紹介	東洋熱工業(株) 取締役営業本部長 奈良部隆信 氏 他 川北電気工業(株) 専務取締役 石黒 鐵彦 氏
			(株)夢工房 代表取締役社長 藤野 裕之 氏 「ロボットベンチャーの創業」
	平成20年10月15日 公開講演会	講演会	日研エレクトロン(株) 代表取締役社長 柳田 裕二 氏 「起業体験 入社から32年の軌跡」
	平成20年10月28日 第23回経営同友会	講演会	(株)野村総合研究所 取締役会長兼社長 藤沼 彰久 氏 「第三の開国に向けて」 ～国際共生の時代に企業はどう向かい合うべきか～
	平成20年11月19日 公開講演会	講演会	ユー・エム・コンサル&サーブ 代表 水野 満 氏 「起業体験 シニアベンチャーへの挑戦」
	平成20年11月25日 第6回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 10件、優秀賞 1 件、奨励賞 3 件、努力賞 3 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
	平成21年1月30日 第24回経営同友会 (第5回ビジネス交流会)	講演会	(社)プロップ・ステーション 理事長 竹中 ナミ 氏 「チャレンジを納税者にできる日本に」
2009年度 平成21年度	平成21年6月5日 第25回経営同友会・第9回総会	企業紹介	(株)NTT・PCコミュニケーションズ 代表取締役社長 石田 守 氏 アンリツ(株) 執行役員 経営企画室長兼 環境推進センター長 小熊 康之 氏
			(学)東京電機大学 学術顧問 吉川 弘之 氏 「新しい発想で未来を拓く」
	平成21年11月16日 第26回経営同友会	講演会	
	平成21年12月5日 第7回アイデアコンテスト発表	アイデア コンテスト	応募数 9 件、優秀賞 1 件、奨励賞 3 件、努力賞 4 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU後援会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
2009年度 平成21年度	平成22年2月15日 第27回経営同友会 (第6回ビジネス交流会)	講演会	(株)東芝 取締役会長 西田 厚聰 氏 「グローバル化時代の企業経営」

東京電機大学経営同友会 講演会等 対外行事一覧

年度	日付／名称	種別	講師／講演・紹介内容／結果
2010年度 平成22年度	平成22年6月14日 第28回経営同友会・第10回総会	研究紹介	工学部機械工学科 教授 藤田 聡 氏 「地震防災機器の研究開発：地震と耐震・免震・制震」
			理工学部理工学科電子・機械工学系 教授 富田 英雄 氏 「熱可塑性接着剤と誘導加熱を用いた壁登りアクチュエータ」
			情報環境学部情報環境学科 教授 宮保 憲治 氏 「ネットワークリソースの効率的活用と高速暗号技術による革新的データバックアップ技術」
	平成22年10月4日 第29回経営同友会	研究紹介	未来科学部建築学科 准教授 百田 真史 氏 「地域冷房に用いる氷水搬送方式に関する基礎的研究」
			理工学部理工学科電子・機械工学系 教授 舟久保昭夫 氏 「再生医療・人工臓器と電子機械工学」
	平成22年12月5日 第8回アイデアコンテスト発表	講演会	日本通信(株) 代表取締役社長 三田 聖二 氏 「Intellectual Nourishment(頭の栄養)」
			応募数 13 件、優秀賞 なし、奨励賞 3 件、努力賞 3 件、経営同友会賞 1 件 協賛賞：TDU産学交流会賞 1 件、TDU同窓会賞 1 件
	平成23年2月14日 第30回経営同友会 (第7回ビジネス交流会)	研究紹介	工学部人間科学系列 准教授 世良 耕一 氏 「社会貢献をマーケティングに活かす仕組みづくり」
			工学部電気電子工学科 教授 加藤 政一 氏 「自然エネルギーの光と影」
2011年度 平成23年度	平成23年6月21日 第31回経営同友会・第11回総会	研究紹介	未来科学部人間科学系列 教授 阿部 一知 氏 「中国への直接投資の現況と課題」
			工学部機械工学科 教授 高村 淑彦 氏 「省エネ法に基づく省エネルギーの進め方」
	平成23年10月20日 第32回経営同友会	講演会	日本放送協会 放送技術研究所 前副所長 谷岡 健吉 氏 「超高感度カメラ誕生を駆り立てたもの」 ～高知ではぐくまれた個性～
			工学部環境化学科 准教授 保倉 明子 氏 「食品の産地を判別する分析技術」
	平成24年2月9日 第33回経営同友会 (第8回ビジネス交流会)	研究紹介	理工学部理工学科 情報システムデザイン系 教授 勝又 洋子 氏 「感性に寄り添うデザイン」 ～物語を紡ぐ空間～
			前ITER国際核融合エネルギー機構長 日本原子力研究開発機構フェロー (財)リモート・センシング技術センター 常務理事 池田 要 氏 「国際熱核融合実験炉プロジェクトを語る」
	平成24年2月9日 第33回経営同友会 (第8回ビジネス交流会)	講演会	未来科学部建築学科 准教授 山田あすか 氏 「環境をつくる」 ～環境づくりの rhizome にみる「建築計画」の役割～
			理工学部理工学科情報システムデザイン学系 教授 小林 春美 氏 「意図をつたえる、意図をよみとる」
2012年度 平成24年度	平成24年6月21日 第34回経営同友会・第12回総会	研究紹介	(株)本田技術研究所 主任研究員 清水 康夫氏 「理想の車のステアリングをめざして」 ～自動車の操縦装置の研究・開発について～
			未来科学部建築学科 教授 射場本忠彦 氏 「次世代型ヒートポンプシステム研究開発/高密度冷熱ネットワークの研究開発」
	平成24年10月18日 第35回経営同友会	講演会	理工学部理工学科 建築・都市環境学系 教授 安田 進 氏 「地盤の液化化による戸建て住宅の対策」
			アズビル(株) 代表取締役社長 執行役員社長 曾禰 寛純 氏 「人を中心としたオートメーションに向かって」
	平成24年10月18日 第35回経営同友会	研究紹介	未来科学部情報メディア学科 教授 佐々木良一 氏 「最近のサイバー攻撃とその対策」
			情報環境学部情報環境学科 教授 宮保 憲治 氏 「クラウドと超分散ネットワークを活用した高信頼ディザスタリカバリ技術の開発」
	平成25年2月7日 第36回経営同友会 (第9回ビジネス交流会)	講演会	京三エンジニアリングサービス(株) 常務取締役 上西寛一郎 氏 「リニアモーターカーの開発を支えた思想的背景」
			工学部電気電子工学科 教授 加藤 政一 氏 「エネルギー問題とスマートグリッド」
	平成25年2月7日 第36回経営同友会 (第9回ビジネス交流会)	研究紹介	工学部電気電子工学科 教授 西方 正司 氏 「風力発電の現状と今後への期待」
			(株)エネット 代表取締役社長 池辺 裕昭 氏 「ITとエネルギー」 ～エネットの取り組み～

年度	日付／名称	種別	講師／講演・紹介内容／結果
2013年度 平成25年度	平成25年6月20日 第37回経営同友会・第13回総会	研究紹介	工学部電気電子工学科 特別専任教授 鈴木 克巳 氏 「電力システムを支える変電機器」
			理工学部理工学科 建築・都市環境学系 教授 中井 正則 氏 「浅海域の波浪制御と環境創造」
		講演会	東電設計(株) 代表取締役社長 増田 民夫 氏 「一土木屋が失敗と一流プレーヤーの言葉から学んだこと」
	平成25年10月24日 第38回経営同友会	研究紹介	工学部電気電子工学科 教授 枅川 重男 氏 「電力変換回路の開発」
		企業紹介	東洋電機(株) 国内市場開拓部 部長 藤田日出男 氏
		講演会	(株)NTTDocomo 取締役相談役(前社長) 山田 隆持 氏 「モバイルサービスの進化と新たな価値創造への取り組み」
	平成26年2月6日 第39回経営同友会 (第10回ビジネス交流会)	研究紹介	工学部機械工学科 教授 三井 和幸 氏 「EAMプレーキデバイスの開発とその上肢トレーニング装置への応用」 ～重くないバーベルの開発～
		企業紹介	フクダ電子(株) 取締役 開発本部副本部長 白川 修 氏
		講演会	産経新聞社特別記者 編集委員兼論説委員 田村 秀男 氏 「2014年どうなる中国、韓国、そして世界」 ～技術立国日本はどうする～
	平成26年3月1日 第1回アドバイザーによる 経営セミナー	セミナー	アストロデザイン(株) 代表取締役社長 鈴木 茂昭 氏 「日本で、物づくりで生きる道」
2014年度 平成26年度	平成26年5月29日 第40回経営同友会・第14回総会	講演会	三菱電機(株) 相談役(元会長・社長) 野間口 有 氏 「科学技術イノベーション時代の経営」
	平成26年10月16日 第41回経営同友会	研究紹介	未来科学部情報メディア学科 准教授 岩井 将行 氏 「スマートフォンを用いた環境計測技術と新しいサービスの展開」
		企業紹介	(株)計測技術研究所 取締役会長 平野 健治 氏
		講演会	東京電機大学 電子工学科卒 弁護士 小柴 文男 氏 「今、改めて天職論を見直す」
	平成26年11月8日 第2回アドバイザーによる 経営セミナー	セミナー	(株)くいんと 代表取締役会長 石井 恵三 氏 「CAEの夢を追い続けて」
	平成27年1月22日 第42回経営同友会 (第11回ビジネス交流会)	研究紹介	工学部機械工学科 教授 土肥 健純 氏 「コンピュータ外科について」 ～手術支援ロボットと三次元医用画像表示～
		企業紹介	(株)コスミック エム イー (CME) 代表取締役 五十嵐光夫 氏
		講演会	キャノン電子テクノロジー(株) 取締役会長 鈴木 滋彦 氏 「1割が変われば会社は変わる」 ～仕組みの改革とマインド改革による構造改革～
2015年度 平成27年度	平成27年4月25日 第3回アドバイザーによる 経営セミナー	セミナー	(株)タイトー 技術アドバイザー 西角 友宏 氏 「ビデオゲームの始まりとものづくり」
	平成27年6月11日 第43回経営同友会・第15回総会	講演会	北里大学 名誉教授 相澤 好治 氏 「働く人々の心と体の健康を求めて」
	平成27年9月12日 第4回アドバイザーによる 経営セミナー	セミナー	ジオ・サーチ(株) 代表取締役社長 富田 洋 氏 「私の考える企業と経営」
	平成27年11月12日 第44回経営同友会	研究紹介	理工学部理工学科 准教授 大西 謙吾 氏 「脳血管障害に伴う手指麻痺改善のハンドリハビリテーション装置」
			国際医療福祉大学 講師 出口 弦舞 氏 「視聴覚ガイドを用いた手動車いす移乗動作リハビリテーションロボットの開発」
		講演会	毎日新聞 デジタル報道センター 編集委員 元村有希子 氏 「科学技術と社会」
	平成27年11月28日 第5回アドバイザーによる 経営セミナー	セミナー	女子プロボクサー 藤岡奈穂子 氏 「世界王者への道」

編集後記

東京電機大学経営同友会「15年史」の編纂にあたり、過去の大量の資料(写真、ビデオ、議事録等)を整理し、それらを読み込み、掲載する内容を取捨選択しました。また、学園の幹部やご功績のあった先輩方にご寄稿を依頼しました。当初の予想より遙かに労力と時間がかかりました。

一方、今まで知らなかった経緯や先輩方のご苦労の一端に触れることが出来たのは大きな収穫でした。散逸しがちな過去の資料の棚卸しが出来たのも成果の一つです。

「15年史」は、今までの歴史を集大成するだけでなく、今後の経営同友会のあり方を検討する上での貴重な資料となります。社会や技術が大きく変わりつつある中で、経営同友会がどのような活動を行っていけば良いのか、「15年史」の発行を一つの契機として考えていければと思います。

文末ながら、編纂にあたってご指導やご協力をいただきました学園、校友会、ならびに経営同友会会員の皆様に御礼申し上げます。

東京電機大学経営同友会15年史

発行 東京電機大学経営同友会
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
TEL:03-5284-5145
FAX:03-5284-5242
E-mail:doyukai@jim.dendai.ac.jp
URL <http://www.tdu-ma.jp/>
編纂委員会
委員長 渡辺 貞綱
委員 小笹 俊一、石黒 鐵彦、
森井 曠雄、林 和博
事務局 小林清一郎、田川加奈子
平成29年(2017年)3月

制作・印刷 株式会社アドコス
TEL 03-3964-1107 FAX 03-3964-1259
URL <http://www.adcos.co.jp/>

